（明治四十四年八月十日 第三種郵便物認可）

京城日報

一日夕刊

定價 本紙 一部金二錢 一ヶ月金五拾錢（郵送料金）一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢▲雜報欄內一行金壹圓貳拾錢▲場所指定は一行金拾錢增▲三號活字の一行は二號活字相當▲六號活字の一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 谷口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯 三四五番 一二一四番 營業 三二六番 一六〇〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

英國下院と募兵問題
內閣再び窮境に陷る

英國內閣は其の徴兵案を撤回したる結果再び窮境に陷りたり下院今後の募兵問題は一時的施設に依賴せずして須らく恒久的立法上の基礎に於て解決すべきことを決議し陸軍大臣に對して此の次に提出さるべき法案は必ず陸軍の缺陷を補塡するを示すべきものにして依て以て今日より戰爭を終る迄の間募兵問題をして再び議會論爭の犠牲たらしむべからずと警告せり二十九日內閣會議ある筈なるが多分政府は即時最後の手段を採るべしてふ一般の要求に聽從することゝなるべし（倫敦電報）

降伏原因

タウンシエインド將軍の統率せる英軍が土軍に降服するに至れるは全く糧食の缺乏に因る右英軍の兵力は英兵二千九百七十名印度兵六千より成れり英軍は降服に先ち大砲彈藥等を悉く破壞せり包圍さる時日は百四十三日の久しきに渉れり（倫敦電報）

ダブリン工場

ダブリン暴徒の占領せるビスケツト製造工場は政府方の爲嚴重に包圍さるゝに至れり（倫敦電報）

南方倍々強硬

南方革命軍は袁總統其他段祺瑞馮國璋等の態度如何に關せず飽くまで强硬の態度を持續し軍資金の充實を計ると共に眞個革命の必成を期するに決したりと（東京電報）

兩廣總司令官

岑春煊は兩廣總司令官となれりと（東京電報）

陸軍停年短縮

陸軍官制改正の上中少尉の進級停年短縮せらるゝ事となるべしと（東京電報）

保證準備擴張

日本銀行に於ける保證準備擴張せらるべし（東京電報）

阪谷男一行出發

巴里に開催の聯合國經濟會議に參列の阪谷男爵は鶴見、矢部の各特派委員を隨へ一日午前八時半多數官民の見送りを受け東京驛發渡佛の途に上れり因に男一行は下關より連絡船にて釜山に上陸し朝鮮滿洲を經て暫く露都に滯在の上佛都に赴く豫定なりと（東京特電）

露大使下關發

前駐日露國大使マレウキツチ男一行は一日朝下關發聯絡船高麗丸にて渡鮮せり（門司特電）

寺內總督臨場

寺內總督は一日午前十時三十分森、高橋兩武官、大藤副官を隨へ龍山に於ける新師團軍旗奉授式に臨場せり尙ほ總督府よりは各部長官局長課長等亦臨席したり

聯絡會議
—第一日—

日支、東淸、京奉線聯絡會議第一日は一日午前十時より朝鮮ホテルに開催せり、午前中の出席者は京奉鐵道側よりは事務總長フオーレー氏、陳總務所總管事務副總官、鐵道院側よりは大園、木下兩局長等、南滿鐵道よりは庄司國際主任、朝鮮鐵道よりは大屋長官、兒玉總務課長其他委員一同にして大屋長官の挨拶に對しフオーレー氏の答辭あり聽て大屋長官を議長に推薦直ちに會議を開き日支聯絡運輸に關する事項を議して午前十一時三十分閉會したるが引續き南滿鐵道側並に東淸鐵道側全委員出席して東淸南滿聯絡運輸會議に移り正午過ぎ散會したり

鐵道長官催宴

五月一日午後七時より大屋鐵道局長官は入京中なる各鐵道連絡會議委員を主賓とし露支總領事及び副領事勝田鮮銀總裁を陪賓とし朝鮮ホテルに招待晩餐會を催せり

鐵道委員著京

日露支鐵道連絡會議に列席する東淸鐵道側鐵道院側鐵道局の各委員は一日午前六時五十分南大門驛著臨時列車にて入京せり

委員總督訪問

東淸鐵道並に鐵道院側各委員は一日午後寺內總督を訪問敬意を表せり

候補生等入京

笠置艦乘組機關少尉候補生四十八名は將校十五名に引率せられ下士卒百五十名と共に二日入京市內を見學の筈なり

笠置艦解纜期

四月三十日仁川に入港せる機關少尉候補生練習艦笠置は四日間同港に碇泊四日鎭海に向け解纜の豫定なり

笠置艦長入京

笠置艦長櫻井大佐、神崎機關長外下士卒百五十名は一日午後一時四十五分南大門驛著汽車にて入京下士卒は市中を見學し艦長、機關長は總督府に寺內總督、各部長官、局長等を訪問し其れより京城內所屬主要官署を歷訪して長官局長に面會入京の挨拶を爲したるが午後六時半より寺內總督の招待に係る朝鮮ホテルの晩餐會に臨みたり

櫻井艦長招待會

寺內總督は一日午後六時半より櫻井笠置艦長、神崎機關長兩氏を朝鮮ホテルに招待晩餐の饗應あり、森、高橋兩武官、大藤副官等出席したり

石原次官入京

石原宮內次官は技師木子幸三郎、屬佐古淸榮、拔手小林福太郎三氏を隨へ既記の如く一日午前南大門驛著入京したり、總督府よりは池邊秘書官、弓削學務課長、李王職よりは小宮次官以下各事務官等出迎へたるが其他官民有志舊知等多數の歡迎を受け直ちに朝鮮ホテルに入りたり

勸銀總裁視察

勸業銀行總裁志村源太郎氏は一日午前十時總督府を訪ひ寺內總督以下各部長官を歷訪入京の挨拶を爲したる後、工業專門學校を視察したり二日は水原に赴き勸業模範場並に附近の勝地を視察し三日仁川に赴く豫定也

正銀頭取出發

正金銀行頭取井上準之助氏は三十日午後九時南大門驛著汽車にて入京朝鮮ホテルに一泊の上一日朝滿洲に向け出發したり

小松原氏招待

寺內總督は三十日夜入京せる小松原東洋協會長を一日正午官邸に招待午餐の饗應をなせり又當地東洋協會にては同日午後七時より同氏を朝鮮ホテルに招待晩餐會を開く

▲東拓の招待　東拓にては入京中の東洋協會々長小松原英太郎氏を二日午後七時より朝鮮ホテルに招待する由

阪谷男歡迎會

巴里に開かるべき聯合國經濟會議に帝國政府を代表して參列の爲渡歐の途に就ける阪谷男爵一行は本月三日午前京城に著し同日滯在の筈につき京城にては石塚農商工部長官、松永京畿道長官、勝田鮮銀總裁、野田東拓副總裁、趙子爵、金谷府尹、原田商業會議所會頭、岡京城電氣專務、高野三井物產支店長、趙鎭泰氏、阿部京日社長等の發起にて三日夜六時半より朝鮮ホテルにて官民聯合の歡迎會を開催して阪谷男一行を招待すべく、會費は五圓、一般有志多數の參會を希望すと出席者は商業會議所又は京城日報社宛二日中に申込まれたしと

芳賀醫院長東上

總督府醫院長芳賀醫學博士は總督府の囑託に依り陸軍省に事務打合の爲め五月三日出發東上の筈なり

米國觀光團出發

豫て入京朝鮮ホテルに滯在中なりし米國觀光團一行十一名は一日午前八時三十分南大門驛發日本に向へり

府尹郡守打合會

京畿道府尹郡守會議は一日午前八時より道廳內宣化堂に於て開會松永京畿道長官議長席に著き府尹郡守二十二名全員出席松永長官は立つて新任の挨拶を述べ直ちに第一日の日程なる諮問事項の答申に移れり當日は龍山軍司令部に於て開會の陸軍祝典に列席するため十時會議を閉じたり二三の兩日共諮問事項の答申を行ひ四日の事務打合を以て終了する豫定なりと

貴族の記念植樹

李完用伯、李允用男、李載覺侯、韓昌洙男、趙東潤男、朴齊斌男、閔泳綺男の諸氏は記念植樹の爲め三十日午前安養へ赴き同日夕歸京したり

辭令

四月二十八日附を以て左の如く辭令ありたり

朝鮮總督府試補　田中三雄
同　大島良士
官房總務局に於て事務の練習を命ず

東拓決算
今期利益金處分案

東洋拓殖會社大正四年度の成績は農產物に於て各地共多少の旱水害を受け小作料の收納減少し加ふるに米價の暴落甚しかりしも幸に會社は大阪に社員を常置し米豆買捌きに付適當なる方法を講じたると米豆共に改良し來れる爲め處分方法に於て成績好良且つ又金融部に於ては未收金の整理に努力して其の收入増加を圖り更に株主の要望に副ひ嚴に經費の節約を圖りたる結果當期利益金總額七十萬六千六百圓に及び前年に比し其の收益十九萬一千餘圓の增加を見たり今期の利益金處分案左の如し

當期利益金	七〇六、六七五圓
前期繰越金	三一五、二四一
合計高	一〇二一、九一六
內	
缺損補塡準備金	五六、六〇〇
配當平均準備金	一四、二〇〇
役員賞與金及交際費	三五、四〇〇
配當金（年六分五厘）	六五〇、〇〇〇
後期繰越金	二六五、七一六

乃ち年六分五厘の配當に確定したり株主總會は五月二十二日東京商業會議所に於て開催すべく列席の爲め東上する重役は尙ほ未定なり（井上總務部長談）

東拓の招待會

東洋拓殖會社にては一日午後六時半より入京中の志村勸銀總裁一行を主賓とし千代本に招待盛宴を張る由なるが官民有力者十數氏を陪賓とすべく會社よりは重役列席する由

臺灣共進會延期

臺灣勸業共進會は九日閉會の筈なりしも都合に依り六日間を延期し本月十五日まで開會するに決せる旨同會長より總督府に通知ありたり

咸鏡線工事進捗

咸鏡線鐵道工事中元山永興間は著々進捗せる模樣にて永興より十哩の地點なる高原に到る間は數日前より建築列車の運轉を開始したりと（元山）

櫻丸の初航

關釜間連絡船として廻航の櫻丸は愈々一日午後下の關を出帆し二日午前釜山著を初航とす而して新羅丸は同日より汽罐掃除の爲め入渠し來る十九日復航の豫定なりと（釜山）

實業專修開校

京城公立實業專修學校は曩に其筋へ認可申請中なれども未だ其指令に接せざるが學校にては便宜開校の筈にて目下其準備中なり因に露語科の教師には東京外國語學校露語科出身者にして總督府內務部在勤の太田氏に囑託することゝなりたりと

元山

▲商議定款修正　過般修正の爲め却下されたる元山新商業會議所定款は却下後設立委員協議の上修正を加へて四月三十日府廳を經由し申達を了したりと▲沿岸航路繁盛　今に至らば船客激增し當航路の盛況を見るは常なるが本年は別して乘客多く爲めに每便各船とも滿員の狀態なり▲防火栓檢査執行　元山消防組合にては去る二十九日に本町五丁目以北三十日は赤田橋以北に於ける各防火栓の檢査を行へりと▲坪井技師轉勤　元山郵便局工務掛長坪井藤次郎氏は今回平壤郵便局工務掛長に榮轉近日赴任の筈なるが坪井技師の後任としては釜山郵便局工務掛長なりし神代技師來任に決定せりと

春川

▲會計檢査官來春　會計檢査院檢査官今泉國太郎氏は檢査院書記福富勇彌、同山岡徵次及び總督府書記藤井熊之助の三氏を隨へ二十八日午後一時春川著自動車にて來春多數官民の出迎を受け秋野旅館に投宿小憩の上直に江原道廳を始めとし會計事務の檢査に著手したるが滯在豫定日數は九日なりと▲降雨と作物　春川地方は目下稻苗代の最中なるが四月末までには七分通り終る模樣なり又數日來の降雨は恰も種物の發芽に好影響を與へたりとて農民は喜び居れり麥は目下四寸程位の發育にて概して惡しき方にあらず出穗季の天災を被らざる限り上出來なるべし▲農會役員會　春川郡農會に於ては二十五日會長以下評議員支部長聯合會を開催し大正五年度農會費徵收方法等を協議したり▲私立學校教員試驗　江原道に於ては大正五年度定期私立學校教員試驗を來る五月十一日より十三日まで施行の筈なるが開始時間は各午前八時にして場所は江原道廳內とし出願期日は來る五月五日限りなりと

平壤

▲新事業の企畫　平壤の林長太郎、大橋恒藏、奥田延之助、川島孫七、森本義高、柴田鈴三の諸氏は資本金十萬圓を以て株式組織と爲し西鮮に於ける牛骨獸皮等を廣く買收し燐酸石灰肥料其他諸種の副產物を製造し發賣すべく發起設立認可を府廳に差出したるが二十日附を以て府より平南道廳に進達せり▲商議發企人會　平壤商業會議所設立に付き五月二日發企人會を催し設立に關し準備相談をなす由▲平壤神社大祭　平壤神社に於いては五月一日例年の通り春期大祭を執行す可し三十日は前夜祭一日は午後一時より祭典を執行し午後三時より神輿渡御式を行ふ由にて氏子總代世話係等昨今準備中なり▲家族慰安會　平安南道廳に於ては二十八日午後七時より道廳倶樂部に於て家族慰安會を催し御大典幻燈の映寫及び蓄音機の吹奏等有りたり

鎭南浦

▲店員運動會　豫て報道せし如く南浦店員運動會は三十日午前九時より開催、各委員は午前七時より準備に著手し選手は午前八時に集合各員は意氣旺盛なり當日は全市業を休み見物に出掛け非常の盛況を極めたり

忠州

▲柳長官一行　柳忠淸北道長官は堤川丹陽二郡の民情を視察し二十七日來忠二十八日午後八時各官廳主腦者及び學校組合管理者及び評議員新聞記者を招待し新任披露の盛宴を張り翌二十九日三宅趙兩道書記を隨へ定期自動車にて陰城に向つて出發せり▲軍人後援解散　日獨戰爭開始さるゝや出征軍人をして義勇奉公の念慮を昂め後顧の憂なからしむべく大正三年十月設立せし忠州郡出征軍人後援會は豫期の成績を納め二十九日解散を議決し決算報告を爲し剩餘金九十圓は之を折半し帝國在鄕軍人會忠州分會及び彈琴臺道路工事費に寄附したり▲軍旗遙拜式　忠州守備の任にある第七十九聯隊第三大隊第十一中隊にては三十日午前九時練兵場にて聯隊創立祝賀を兼ね軍旗拜受記念式を擧行し軍旗遙拜式分列式を終へ忠州在住官民を招待して酒食の饗應及び餘興等あり稀有の盛會なりき

天安

▲果樹栽培法講話　二十九日午後一時より天安公立普通學校に於て水原の松田技手外一名を天安農業組合より依賴し果樹栽培法及び害蟲驅除方法の講話ありたるが來聽者は農業組合員學校生徒及び天安郡管內の農事經營者等無慮數百名なりし▲修學旅行　天安尋常高等小學校長古川氏は各生徒を引率し一日午前六時四十分天安發の北行列車にて龍山及び京城方面へ修學旅行を爲し兵士の生活狀態及び博物館を觀覽し同日午後七時五十分南大門發列車にて歸天する豫定なりと▲大神宮祭典執行　天安南山公園の大神宮祭典は降雨の爲め延期し二十七日擧行したるが餘興の藝酌婦の音頭芝居花角力は豫想以上の人出にて頗る盛大なりき

裡里

▲五山里學校　全北益山郡五山面五山里尋常小學校は先般來新に校舍の建築中なりしが既に落成したれば五月一日午前十時を期し落成式を擧行する由▲御大典活動寫眞　本社裡里新聞取次店の主催に係る御大典活動寫眞會は五月二日午後二時より開寫影をなし公立小學校生徒二百四十八名普通學校生徒百五十八名を主とし其他の入場ある約束成立し夜間は一般觀覽者の爲に開催すべく目下準備中なるが眞正の活動寫眞を渴望せる折柄とて頗る人氣に投じ居れば開催の上は定めて盛會ならん

大邱

▲各組合總豫算　慶尙北道に於ける三十六全學校組合五年度の豫算は全部報告を了したるが今各學校組合別に之を示せば左の如し（單位圓）

組合	戶數	豫算
淸道	一〇三	三、六九八
迎日	[illegible]	[illegible]
慶州	[illegible]	[illegible]
慈仁	[illegible]	[illegible]
倭館	[illegible]	[illegible]
慶山	[illegible]	[illegible]
善山	[illegible]	[illegible]
義城	[illegible]	[illegible]
河陽	[illegible]	[illegible]
醴泉	[illegible]	[illegible]
靑松	[illegible]	[illegible]
咸昌	[illegible]	[illegible]
榮州	[illegible]	[illegible]
大邱	[illegible]	[illegible]
漆谷	[illegible]	[illegible]
安溪	（未報）	[illegible]
高靈	[illegible]	[illegible]
義興	[illegible]	[illegible]

組合	戶數	豫算
金泉	[illegible]	[illegible]
鬱島	[illegible]	[illegible]
永川	[illegible]	[illegible]
安東	[illegible]	[illegible]
尙州	[illegible]	[illegible]
盈德	（未報）	[illegible]
瓜村	[illegible]	[illegible]
玄風	[illegible]	[illegible]
琴湖	[illegible]	[illegible]
甘浦	[illegible]	[illegible]
六卿	[illegible]	[illegible]
邱南	[illegible]	[illegible]
若木	[illegible]	[illegible]
安康	[illegible]	[illegible]
九龍浦	[illegible]	[illegible]
聞慶	（未報）	[illegible]
龍宮	[illegible]	[illegible]

▲月背面畓作狀況　內地種籾畓耕作地を以て知られたる達城郡月背面の畓作近況は苗丈約一寸準備耕作頗る順調にして川濱田、森田、松本、友成、立石の諸氏中堅となり耕作改良を圖りつゝあり本年の耕作反別總じて約四十町歩なりと▲慶北隊署長會議　慶北警務部にては來る六月初旬を期し管內各地憲兵隊分遣所警察署長會議を開く可しと▲矢島試補出張　矢島慶北道試補はパーレー種耕作獎勵の爲め四日間の豫定にて卅日より永川新寧地方へ出張せり▲日月學校組合認可　延日、鳥川、大松の三面を以て組織せる慶北迎日郡日月學校組合は二十九日附を以て認可の指令に接したり▲組合教會牧師定住　三笠町大邱組合基督教會には從來定住牧師なく信徒各自が禮拜を守りつゝありしが今回日本基督教會幹部たりし米本直太郎氏牧師として招聘され二十九日着任せしかば自後一層大邱宗教界の爲め努力さる可しと

人事消息

▲小松原英太郎氏（樞密顧問官）▲渡邊彌五郎氏（隨員）　三日急行にて出發滿洲に向ふ筈
▲趙重應子　風邪の爲自邸に於て靜養中
▲白川友一氏（代議士）　三十日夕安東より入京
▲山本條太郎氏（實業家）　卅日夕入京朝鮮ホテル
▲中村百三十銀行支店長（京城支店）　一日午前八幡製鐵所へ向け出發
▲露國副領事（京城駐在）　一日朝長崎へ
▲伊藤少佐（陸軍運輸部長）　三十日釜山へ

加五里觀櫻弓射聯合會席上口呼　瑣田　趙重應

隨人强病出東城。一壓粧明萬樹櫻。
君子有爭看揖讓。方知昭代武文并。

四月一日　也堂居士

己無干戈拓遼荊。閑有絃歌山月高。
忽過春風武城地。割雞終不用牛刀。

五月一日

萬呼萬歲百雷轟。聯隊旗翻天地淸。
居治明王不忘亂。武夫赳赳國干城。

米墨將軍の會見
米國軍の撤退を要求して容れられず

エルパソ來電に依ればオブレンゴ將軍はジュアレッグにてマコットフワンストン兩將軍と會見し墨國內より米國軍を撤退せしむべしと要求せるが米國側の將軍はヴィラを逮捕せんとするカランザ軍を優勢ならしめんが爲には米國軍の不撤退を必要となせり今回の會見は決定を齎らさゞりしが他日改めて會見を行はるべしと（紐育電報）

ヴ將軍テ州に現はる

一度死去を傳へられたるヴィラ將軍は今猶生存部下を率ひ又復テキサス州に侵入せり（紐育電報）

ダブリン暴徒領袖降服

ダブリン來電に依れば暴徒の領袖は悉く無條件にて降服したりと（紐育電報）

暴徒の掠奪甚し

倫敦來電に依れば愛蘭に於けるダブリン戰鬪は今尙繼續中にして暴徒の掠奪甚しと（東京電報）

在米愛蘭人激す

在米國愛蘭人は歐洲戰は素より希望する處に非ずして獨國に對し些の遺恨なしと云々と稱し激昂し居れり（桑港電報）

露銀貨の發送

露國政府の注文銀貨は大阪造幣局に於て鑄造中の處三十日三百萬留を輸送せり（大阪電報）

潛航艇建造問題

海軍省に於ては大型潛航艇建造方策今尙確立せず而して右は七百噸を超ゆるの建造は到底見込なしと（東京電報）

淺間修理進捗

淺間艦は修理は著々進捗せしも同艦は破損個所多くして修理費の總額百三十萬圓を要すべしと（東京電報）

陸海軍豫算編成

大正六年度陸海軍の豫算は一日以て編成に著手せり（東京電報）

鐵板倍々騰貴

鐵厚板倍々騰貴し二割高を唱ふるに至れり（東京電報）

國際鐵道會議委員の南大門驛著
（中央前列）ルグッキッチ氏（右へ順に）ウエインストック氏、グーストル氏、横井技師、大星長官（左へ順に）マツオキン氏、ソーボレフ氏

京城の城壁（1）
周圍四里十五町 六時間で一巡り

議部の人氣を聚めた五加里牛耳洞の櫻花も三十日の日曜を打止めに盛りを過ぎたので、本社は更に別項社告の如く、同好の士を募つて『城壁廻り』の快擧を計畫することゝなつた。併し此の歴史ある城壁を漫然歩いても詰らない話であるから茲に各方面の材料を蒐集して同好の士の研究に資せんとするのである。

東西南北の城門に守られた京城の街は其の間丘を越え谷を亙つた透迤たる城壁に圍まれて一つの大きな圍ひの裡にある、此の京城の外廓をなす城壁の一部は交通の繁き場所ほど一樣にみな取壞されてあるので

京城全市が高い石垣に圍まれて居る事は割合にわれ〳〵の脳下深く記憶されて居らぬ、併し一度漢陽公園に昇つて脚下の三阪通りを俯瞰した人は直ちに高き城壁に好奇心を生ずるだらう、城壁はまた黄金町通りを光熙門に出た外側若くば西大門の外側でも明かに見られる、而して猶ほ高い北漢山から仁王山にかけて南はまた南山の絶巓までも蜿蜒長蛇の如き城壁のある事は內地在住の市街に稀らしいところであらう

李朝五百年の雨にうたれて 此の城壁は何時の頃 漢陽の四方を繞る

築かれたか東國輿地勝覽には太祖の五年石を用ゐてこれを築き更に世宗四年改修したと記されてある、而して長さは九千九百七十五歩、即ち一萬一千九百七十米突の四里十五丁十八間二尺四寸と計られて居る（これは中村總督府技師の調査）更にこれを飛行機に乗つて天空から見ると全市の鳥瞰圖は南北最長一里十七町十六間餘、東西最長三十四町五十六間餘で詰り南北に長い事となる、然し

地勢及び交通路の 關係から何うしても 吾曹われ〳〵の考へでは

東西に長く感ずるけれども事實は全く南北に長い所である）また東大門方面を除く京城の三方は皆分水界の上を走つて居る、例へば低き南大門から海拔高さ三十六米突六一で他は白岳の三百四十二米突から仁王山の三百三十八米突、南山の二百六十五米突まで一樣に高い、されば此の京城なる一小盆地を圍む城壁廻りが皆山の絶頂つゞきを歩まねばならぬは言ふまでもないが最今乘馬で

六時間に城壁一周を試みた 記者の經驗談を おはなしすると

其の間世人が想像する程さした難事でもない、先づ東大門から北に向へば基督敎婦人病院の所から工業傳習所裏の駱駝山に出る、此所では東小門に近きあたり獨逸人經營の學校に鐵條網もあるが東小門からは更に櫻桃畑を避けて門外城北洞に巡ると此處はむかしから有名な別莊地風光の勝れた事は云ふまでもない、更に勾配を昇つて肅淸門に出ると此處からはもう全市近郊が一眸の下に收る

北岳はまた脚下に 景福宮や市街の 五人寸馬を眺められる

が此所から彰義門傳ひ仁王山に出ると此の二三箇所難穿きでは困難な撈所がある、次ぎに西大門、南大門に出る間は記すまでも無いが謂ゆる南山の木覓山は國師堂の霰頭といはれて居るあたりが少な困難なばかり左したる險路でもない、南山の下りは更に容易なる松山道、東大門に出るといよ〳〵外廓を一巡した事となる

◎三島丸無事六連島に到著

木浦沖に坐洲せる金澤汽船會社汽船三島丸（一九二二噸）は救助船第三日の出丸に引下され假修繕の上一日朝門司中村組汽船豐前丸に引かれ無事六連島に到著せり同船は一日夜門司に引入れ積荷石炭を下す筈（門司特電）

◎笠置艦を訪ふ 廣澤副長と語る

機關少尉候補生練習艦笠置は二十九日夜來の風波の爲め豫定より六時間遲れて三十日午後四時仁川に入港し沖合三海里の

▲月尾島前に投錨 せり是れと同時に久水府尹櫻井稅關長松元警察署長及び森總督附武官の使命を帶びたる總督府雇員は稅關ランチ第二宮丸に搭乘して艦長櫻井眞澄大佐を訪問せり同艦は來る四日拔錨鎮海灣に向ふべく尚一般の拜觀は許さずと尚副艦長櫻井中佐は語つて曰く 軍艦笠置乘組の機關少尉候補生は四十八名である昨年十二月横須賀なる海軍機關學校を卒業し即日乘艦一月十二日横須賀拔錨伊勢大阪神戸方呉廣島多佐世保長崎鹿兒島基隆馬公香港街島旅順大連鎮南浦を經て三十日入港した仁川には五月三日まで滯在して四日朝解纜鎮海灣舞鶴沖縄北海道の

▲各港を經由して 本年七月横須賀に歸著の豫定であるが之で候補生の第一期實務練習を終る筈である出發以來の衛生狀態は頗る良好で一名の病者さへない位である而して目今の日課は朝五時起床六時十五分朝飯を終り七時十五分より四時まで各種の課業を行ひ夜八時半就床するといふ風で他の乘員も少しも異はないのである本艦には艦長櫻井眞澄大佐以下准士官以上三十七名

▲機關少尉候補生 四十八名乘組員四百五十名乘つて居る仁川在泊中は一日二日は候補生全部兵員は右兩日間に半舷宛上陸京城見學をする筈である（仁川）

◎美人の寫眞で四十圓
捲き上げんとした惡漢 夫婦共謀で惡事を働く

富山縣中新川郡滑川神明町當時京城明治町二丁目居住の萩原正治（三五）は萬年筆の行商をなし妻よし（三〇）に酌婦奉行をなさしめ居たるが夫婦共謀の上四月二十三日太平町二丁目飲食店田中某方によしを棲み込ませることゝなり前借金の名義にて二十圓を驅取し尚正治は同月二十二日妻の名義にて手紙を僞造し諏訪町飲食店某作某方に至りて之を示し又別に携帶し來れる若き女の寫眞を見せ是れは自分の妻にて女中二名を連れて京城に來る事となり居るも旅費なき爲め前借金を貸して呉れんなら妻を酌婦に棲込ますべしと欺き共に京城郵便局に至り深作は金四十圓の爲替を組み該爲替券を正治に渡し同人は之を受取りて封筒に入れ投函する如く見せ掛けて手早く別の手紙を投げ込み翌二十三日該證券を以て右の四十圓を拂ひ戾して詐取し夫婦逃亡せんとしたるを本町署の手に取押へらる

◎錠前を捻切る 二十一箇所を荒した曲者

京城黄金町四丁目居住職台永（三一）は竊盜前科二犯の曲者なるが本年四月十六日午後五時頃黄金洞黄南淵方の下人部屋の入口の錠前を捻ぢ切りて侵入し衣類二十八點（二十三圓五十錢）を窃取したるを手初めに本年二月以降の間に外二十一箇所の內鮮人宅に忍び込みて衣類雜品數十點價額百二十二圓七十錢を窃取したる爲め鍾路署に檢擧されたり

城壁廻り
見よ、壯擧！、快擧！

城壁廻り。京城の城壁は南山、駱駝山、白岳、仁王山の諸峰を連結して蜿蜒五里に垂とす。京城の城壁は今や漢陽名跡の一として吾人の目前に横はれり。偉大なる古跡よ。吾人は春光駘蕩なる來る七日の日曜日を以て、此の偉大なる古跡を踏跨せんとす。來れ諸君、花を賞せし諸君、更に此の壯擧に依て躬幹に伸して豪爽の氣を養はれよ七日の日曜日は花には既に遲し。吾人は同日を以て斯る壯擧を催し諸君と共に此の偉大なる名蹟を巡りつゝ、探春の快を貪らんとす。來れ諸君、振つて參加せよ。

詳細は追て發表すべし

來れ參加せよ。吾人の快擧

□世の所謂 成金ではない
■中村精七郎君の成功 ■海軍の爲私利を擲つ

木村組に這入つてから中村君は非常に勸勉であつた每日夜の明け切らぬ間に起床して仲仕の連中を

一々 起して廻つて其れから朝飯を濟まして皆と一緒に事務所へ出て雨の日も風荒ぶ日も曾て怠つたことは無かつたが木村組の主人も亦非常の勸勉家で每朝中村君が仲仕を起して歸つて來る時に起床して顔を洗つて居るが其の時間がキッチリと合つて少しも異らなかつた恰度信長が如何程早く起きても秀吉がちやんと起きて草履を正して置いたのと同じ樣に其の

黽勉 は大いに主人木村氏の信用する所となつて行く末共に事業の經營を爲ようと云ふ樣な相談まで爲て居たが恰度其頃土地の事から中村君は主人からある嫌疑を受けて衆人稠座の前で非常に辱かしめられたことがあつた數日經つて後中村君に懸つた嫌疑が晴れて主人自から其の不都合を謝したが中村君は例へ

嫌疑 は晴れても一度衆人の面前で廢辱を蒙つてはもう仲仕などの群れを使役する事は能きぬと斷然木村組を辭して鎮南浦へ逃き同地で獨力運送業を經營することになつた君の至誠と努力とは到處で成効するの素質があつた中村君は數年ならずして南浦で成効した歐洲戰亂勃發以來船腹の不足と運賃の暴騰とは海運界に未曾有の好況を來たし中村君も亦同時に巨萬の利益を攫得した併し

海軍 の無煙炭運送は數年以來請負ひ之れが爲めに自分の財產を捧へた關係も有るからと云ふので彼は船腹の暴騰したるに拘らず敢て何萬の利益を顧みず前々年通りの運賃で今も無煙炭の運送を爲て居る處など何處となく世の所謂成金と異つて居る處がある（終）

◎鎮海の抱合心中

鎮海の飲食店菊の家方酌婦小玉事砂口ます（二三）及び同家の小金事松原□ん（三）は去る二十七日相抱ひて行方不明となりしが其後二十九日朝鎮海に投身自殺せるも屍體は漁夫の網にかゝり引揚げられたり原因は不自然なる同性の戀に耽りたる結果なるべしとの評判なり

◎安東の記念日 祝賀會と旗行列

安東記念日につき一日朝九時安東神社にて祭典午後六時公會堂にては官民祝賀會あり各戶國旗を掲げ裝飾を施し晝間は小學生の旗行列夜は提灯行列其他の餘興ありて非常なる賑を呈したり（安東特電）

◎泥醉して亂暴

京城南大門通り五丁目豆腐賣子朴永鉉（三二）は三十日夕刻明治町二丁目飲食店朴雲陽方にて泥醉し飲食代三十錢を支拂はず亂暴を働き居る所を最寄交番の警官に取押へられ本町署にてお目玉頂戴の上放還さる

◎阿片密賣檢擧

京城黄金町三丁目居支那人胡天保（三八）同天德興（三二）の兩名阿片吸食並に密賣者として鍾路署に檢擧されたり

◎關しい商人

住所不定の毛子商金某（三〇）は四月二十日午後三時半頃京城表會洞吳姓女方に赴き鍍金銀指環二個を純銀製なりと稱し金一圓二十錢に賣却したる爲め鍾路署巡査に取押へらる

◎櫻桃の花盛り 東小門と三仙坪

東小門の櫻桃畑と三仙坪の桃畑は昨今滿地の花盛り、京城の附近に恁麼名所があるかと驚かれる程である、道は總督府病院の傍から電車を降り祕苑文廟の樹立を眺めつゝ行けば僅かに五六町で東小門に著く、門の內側は雲かとまがう櫻桃の畑、小さい可愛い花にはまた桃色のなまめかしきもあり此處は朝鮮ではむかしからの櫻桃の名所として有名なところで附近の櫻や中央試驗場附近につゞく花畑も眼もあやなる花盛りである、更に門を越ゆれば平山牧場の附近白砂の河や蔭き芝生の左右に綺眞皿を浴したやうな桃が咲いて春の遊びには最もよい また此のあたりはよく學校の運動會の催される處でむかしは軍隊の練兵場に當てられた場所である、電車や俥で往けば夕方からでも間に合ふ程近い

◎八十八夜

五月二日は雜節行事の定日八十八夜に當る現今の暦には時所の暦下しの季節が記してある、朝鮮は內地と一樣にはわかねど、日本は瑞穂の農國、米は經穀の代表物といふので、米の字をくだいた八十八を採つて全國稲殿の標準期日にしたものであるさ（傳へられる）

◎聖書携帶の賊 鳥取市西町生れ神谷明（三七）は大正二年六月六日同市及び須磨武島地方を荒し廻りて三月下旬漢濱と……三溪關にて山手署の手に逮捕されし……八月十四日以降二回に同家の金三十……激しき爲め一旦下の關に引返し午後……

渡邊新五郎、外人三名、二等客……ひさ、同重仁、同うた、弘岡まさ、高庄……えい、何井朗堤、大村文子、辻村藤次郎、渡邊末……

廿日午後入港新羅丸二等客 一等（二〇）名 木下泡大、大岡榮三郎、三上眞吉、青木治郎、金井由、伊藤常次郎、ルゲサイッチ……

天氣 臺後晴れ（五月二日）

生徒募集
兩校共缺員あり入學を許す
京城私立女子技藝學校
京城私立中等夜學校
南大門內電話一七八九番

巴里に開催の聯合國經濟會議參列の爲め渡歐せらる、阪谷男爵一行來る三日入京に付官民有志にて歡迎會相催し且其行を盛に致度候間一般の御來會を希望仕候

一期日 五月三日午後六時半
一會場 朝鮮ホテル
一會費 金五圓（當日御持參の事）
一申込所 京城商業會議所又は京城日報社
一申込期日 五月二日限

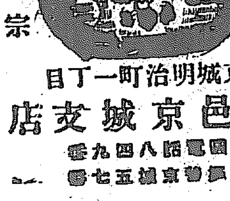
大正五年五月一日
發起人（いろは順）
石塚英藏 原田金之祐 岡正癸 金谷充 高野省三 野田卯太郎 松永武吉 趙重應 子爵趙鎭泰 阿部充家 勝田主計

タングステン
用手電燈及鑛山機械は始政五週年記念物產共進會に於て賞牌一褒狀三を授與され朝鮮唯一の光榮工界に於ける最初の受賞者たるの光榮を得
京城南大門通五 電話一〇四番 中根商會

活動大寫眞來
シエンキーウイツチ傑作 新版「何處へ往く」長尺
五月三日（水）四日（木）五日（金）六日（土） 四日間開催
會場 壽座
主催 京城青年會

京城春川間自働車運轉
京城發午前八時。春川發午前九時
京城南大門通一丁目二十二番地 廣橋京春自働車組 電話二一九番 主務 金正淵

ひぜん 妙薬 芳香ひぜん水
大阪市西區新町通二丁目 本家 田知本和三郎謹製 （各藥店に販賣す） 振替大阪二八一八番

比較は最良の撰擇法なり
サクラ正宗 サクラ正宗

京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替京城五七番

大日本青年講習錄
團長大隈伯爵 ▽第一號出づ△ 文部省賛賀
▼鄉土の研究……小田內通敏
▼稻の話……横井博士
▼理科講話……草野博士
▼實用簿記……興梠杢太郎
▼習字講話……小野鵞堂
▼新時代の忠君愛國……高田文相
◎漢詩俗解……桂湖村
◎和歌……尾上柴舟選
◎俳句……巖谷小波選
◎全國青年團消息
◎講談乃木大將……松林伯知
◎青年團青年會に限り第一號無代進呈
◎我國の體育……嘉納高師校長
◎歐洲大戰の經過……長瀬ドクトル
◎各國少年義勇團……友枝高彦
◎生蕃の青年と語る……巖谷小波
▼青年に告ぐ……大隈團長
▼四則速算術……神尾錠吉
▼手紙の書き方……五十嵐力
▼潛水艇の話……日高中佐
▼神武天皇……吉田博士
▼英語……前田定之介
團歌 作曲懸賞當選 每月一回 一年十二冊 見本規則
東京早稻田大學出版部內 大日本青年修養團

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百參拾五萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
頭取 男爵 澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

討論文は決勝線に入れり縱論横議
青年論客の粋をあつめ海外時評の如き亦可見
五月號 雄辯
東都論客總捲り 其他
■龍馬外傳 お龍物語……和田三郎
■帝大教授月旦……閑居主人
■曾見の三河……黒頭巾
■ミリタリズムデモクラシー……室伏高信
■外交家パトン……栗原古城
■辯士聽衆の關係……宮田教養
■旗本奴町奴……静汕學人

…年刑に處せられしが本年二月廿三日恩典出獄して京城に赴き南大門通某時計店より金側鎖中時計金指環等六百圓餘を窃取神戸に高飛びしにて窃める物は横濱にて金に替へ情婦及び遊女に入れ揚げ更に大に關東地方を荒さんと準備中二十三日横濱…

●窃盜雇人は八箇月　全北茂朱…居金順文(二二)は同洞…京城…子商…求先方に雇はれ中大正三年…

●連絡船上陸客　廿九日午後入港すべき連絡船壹岐丸は海上風浪…

卅日午前入港商船九二等客…

□廣梁灣の鹽田から

□樂しい秋のお祭□
□大才主義の教育□

鹽田組合には近頃奉德會も組織されて盛に尊德主義を宣傳せられて居るし地質が梨林檎等の果樹の栽培に適して居る處から近來又果樹の栽培も盛んになつた秋の祭の頃になると紅玉の林檎や大きな梨の實などが神の献げ物として先づ摘み取られるそれから澤山に産出する

▼果實はとても鹽田では
▽用ひ切れぬほど

であろ、鹽田の祭は一年中の一番樂しい時である秋の空と水とが澄み渡る頃になると乾燥した西北の風は非常の速度を以て鹹水を蒸發させて鹽の結晶は非常に速かである隨つて鹽倉は一杯に滿る鹽田の畔にまで鹽は山盛りに積つて居ると云ふ時である鹽釜明神と天照大神とを合祀した廣梁灣の鎮守樣の祭が來る小さな部落は燈籠や造り花や山車や幟で飾られる

▼大鼓も響くし笛も鳴る
▽恰度田舍の秋祭

と同じ樣である祭の餘興には村芝居も催されるし活動寫眞も來る偶には浪花節や落語家なども來る祭日三日は實に鹹き鹽田生活唯一の娛樂であるから老人も子供も同じ心で祭を待ち焦がれて居る、祭の他の娛樂には鹽田倶樂部が設けてある茲には立派な玉臺が二臺とそれに碁、將棋、大弓擊劍道具などまで備へてあるその

▼外にまだ玉場に續いて
▽疊敷きの廣間が

設けられて有る之は浪花節とか淨瑠璃とかの寄席であるが兼鹽田ホテルとも稱すべき處である鹽田に要務が有つて出て來た人々は他に碌な旅館が無いから此の倶樂部に宿泊する事にして居るから夜具蒲團など萬事の設備が行屆いて居る、此れで鹽田生活の大體を述べたわけであるから今度は鹽田の

▼學校はどんな風にして
▽鹽田の子弟を教

へ導いて居るかと云ふと倶樂部に隣り合つた洋館は實に鹽田に生れた子弟の前途を寄托して居る學校である。公立廣梁灣尋常高等小學校と稱し全校生徒は男二十名女十九名總數三十九名之れを尋常科と高等科の三組に別けて複級制である先生は三人居る複級制教授は

▼天才主義の教授法で
▽尋常二年位でも

六年位の學科まで會得して居る兒童も有る一般の成績も他校に比して些しも劣つて居らぬとの事である現に菅田所長の令息は本年三月此の鹽田小學校を出て小田原の中學に入學したが百五十名募集に對して志願者は五百名も有つた其の中で同君は第十一位で入學した小田原中學校は從來の成績より非常の好評の有る學校であつて本春

▼閑院宮載仁王殿下も亦
▽同校に入學され

た程である菅田氏の令息は王殿下と同じクラスに這入る事を許されたと大變に鹽田學校では悅んで居る猶鹽田では近來種々の化學試驗を行つて居る即ち鹽の苦汁から炭酸苦土、鹽化加里、鹽酸マグネシーム等を製して居る殊に炭酸苦土は齒磨の原料其他非常に需用の廣いものであるさうだ（完）

●是から流行する腸チブス

心臟の弱い人は注意せよ

初夏發疹チブスは春と冬とに多く、初夏から秋にかけては腸チブスが次第に多くなつて來ます。この二つは名は同じチブスでも性質は全く異つてゐます。腸チブスの病源はチブス菌ですが、發疹チブスの病源は判然しません。たゞ共通な點は兩方共に精神が冒されることです。そして兩方共に四十一二度の發熱があつて頭痛や寒氣が烈しく、催眠がなく、腰痛四肢痛を起して苦しみます。發疹チブスの方は二週間で必ず熱が無くなりますが腸チブスは七八日目にロゼオラといふものが出ます。尤もこれは醫師でないと分りません。でこの病氣に罹つた時は頭部を冷し、安靜にして、便なども便器を用ゐ、固形物を食べないやうに注意し、早速醫師に診察を乞はねばいけませんが兎に角傳染することの恐ろしく早いものですから、患者に近寄る人は患者の咳、嚔などに注意しないといけません。發疹チブスの方は虱から傳染することが多く、腸チブスの方は口からが多うございます。ですから怪しい物を食べたり井戸水を生のまゝ飲んだりするのは危險です。其の點では水道は安全です。又食器なども成るべく熱湯で洗ふやうに心掛けるがよろしい。便所は普通石灰を撒くのですがこの場合は石炭酸を十倍にして用ゐるとよろしい。又クレシンを三十倍にして十分な分量を撒くのも宜しい。又患者のある家へ見舞に行つて茶を飲むとか、菓子を食べるとかは決してしないやうに、又病家でも心得て出さないやうにするが宜しい。發疹チブスは子供よりも中年から老年の人に多いのですが、殊に心臟の弱い人は注意しなければいけません

●新軍旗授與式　並に師團開廳式

五月一日午前十一時既報の如く立花十九師團長は龍山第七十八聯隊本部に臨み新軍旗の授與式を行ふ寺內總督其他官民多數列席盛儀を極め終りて正午より第十九師團司令部にて同師團開廳式を擧げ終りて實に移り宴後々庭の模擬店を開き盛會なりき

●人氣湧が如し　木浦の大禮寫眞

木浦は四、五の兩日共晝夜二回常盤座に於て京城日報、毎日申報全南支局主催の下に御大禮活動寫眞拜觀會擧行に決す御大典寫眞の謹寫は今回を以て嚆矢とするが故に府民の拜觀希望者頗る多く入場券購入申込頻々たり又高等尋常及び普通學校生徒團約一千名の爲め晝間二回謹寫する事に決定し各般の準備進捗中なり（木浦特電）

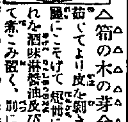
■船橋里の櫻（平壤）　平壤税關出張所前を東に出づれば大同江の對岸屹として石塔の立つてゐるのが見える其所は二十七八年役の際大島旅團が露營したる古戰場船橋里で石塔は其の記念碑である今記念碑の周圍には數十本の吉野櫻が白楊樹と混じて粹な風致をして居る昨今滿開の見頃である

演藝

▲浪花館　團昇一座十二日目二日夜の語り物左の如し▲玉寶藏▲妹背山杉酒屋(達昇)▲伊賀越三段目道中の段(伊達春)▲白石噺七つ目揚屋段(長花)▲日吉丸三段目小牧山城中(昇六)▲お夏清十郎湊町の段(長春)▲御所櫻三段目(伊達若)▲花川戸の段(團昇)▲大切忠臣藏七つ目一段(總一座掛合)

▲御成座　中村榮一行二日夜の替り藝題一番目武士的教育八場二番目喜劇洗濯袋四場なり

▲壽座　改正義團三輪貫一行にて開演中



△筍の木の芽合　筍は茹でてより皮を剝き廻りを綺麗にこそげて短册に切り、これを酒味淋醤油及び煮出しにて煮こみ置く、別に烏賊の頭と皮を剝きて適宜に切り、湯の煮立ちし中にてざつと茹であげ、味淋酒砂糖にて淵味を付け、別に擂鉢にて木の芽を擂り、白味噌を加へ砂糖を入れて酒にてのばし、この中にて前の二品をまぜ合せて器へもる

商況

東京株式特電

一日　前場寄付　大引

銘柄	寄付	大引
日本郵船	二〇〇、〇〇	二〇〇、二〇
京城電氣	[illegible]	[illegible]
浦潮新聞	[illegible]	[illegible]
同新	一九九、〇〇	一九九、五〇
日本製	[illegible]	[illegible]
東株第一	二九六、〇〇	二九四、〇〇
東株第二	[illegible]	[illegible]
東新第一	[illegible]	[illegible]
東新第二	二七一、〇〇	二七一、〇〇

債券現物特電

一日川原價段（前日との比較）

銘柄	價段
東洋拓殖	[illegible]
京城電氣	[illegible]
朝鮮銀行	一四九、五〇
朝鮮瓦斯	[illegible]
南滿鐵道	[illegible]

東京公債直取引（電特）

一日川原價段（前日との比較）

銘柄	價段
五分利	八二、三〇
五分甲號	八一、三〇
四分	九五、〇〇
二回四分	[illegible]
甲五分	[illegible]

深川在米特電

一日現在高

銘柄	高
朝鮮米	一〇七、三八〇
內地米	八七、三八〇
臺灣米	二〇、〇二〇

東京期米特電

一日前場　七月限

寄付	一四、五九
高値	一四、五九
安値	一四、四三
止め	一四、四六

後場 [illegible]

大阪期米特電

一日前場

當限寄付	一四、一〇
中限寄付	一四、七四
先限寄付	一五、一〇

止め [illegible]

大阪株式特電

銘柄	前場止値	一日後場
宇治川水	[illegible]	[illegible]
神戸電鐵	[illegible]	[illegible]
京阪電氣	[illegible]	[illegible]
和歌山紡	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	[illegible]
鐘淵新紡	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
東洋棉花	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
大阪米穀	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

一日後場

限月	前場	後場
五月限	三一、一〇〇	三一、〇八〇
六月限	三一、四〇〇	三〇、〇〇〇
七月限	三一、〇〇〇	三一、五〇〇
八月限	三一、九〇〇	三一、六〇〇
九月限	三二、〇〇〇	三一、九〇〇
十月限	三二、六〇〇	三一、九〇〇

下關期米特電

一日前場（正米堅ざ安）

	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報

●內地の糖況

外糖高を入れて人氣沸騰し稀有の盛況を告げたる內地市場は受渡準備日の接近せるが爲め賣買共に氣乘らず仲間手合も殆んど散ふべきものなきを以て斯界の花形たる分蜜糖は先づ幾分方氣弛みて玆六錢安の五六七限は十八圓三四錢買人氣なるが別に惡材料の出でたる譯には非ざるを以て精糖エーエー六限は二十三圓廿錢好上斗精に十三圓二十錢黑糖二歩物は十一圓六十錢を維持して動かず而して機を見ては常に賣出しつゝありし會社側にて糖價の斯く高値に進みたるに拘らず其後未だ賣出の擧に出でざるは最早手持として餘す所僅少なるが爲めならんも外糖は着々と産糖を分案を期待を實現して糖價の前途は大暴騰を斷行せらるゝ折柄なれば敢て賣急がず豫想以上の利益を占めんが爲めに外ならず斯く會社側にては賣出さず先見越の當惑買は益々加はらんとするの模樣なれば月替りを機會に

更に昂騰を重ぬべきかとの觀測多きが夫れにも拘はらず當地糖界の氣配は何日來まるべしとも思はれず

●期米新甫發會

米に於ける大阪の五條相場は軟派の活動によりて買方の投物續出し遂に總退となり人氣の軟化すると共に一時市場に跳梁せし高見說も先さて本日市場の新甫發會も三十七丁上鞘の五十二錢以上の出來より忽ち十四圓八十錢と反落し七節漸く八十八錢と展開し成行きは如何にも不勢なりは大阪の暴落移りに十一圓十五丁上鞘に發會し五十九錢を安値として五節七十錢あり…と生れ…より却て六錢高に…るは兩鞘生れの關係なるべきも天災期の米果して如何なる經路を辿るべきか月初の安値は買方に寄せるの恐み多きが如しと雖正米先きの騰貴されし材料のみと無視も行かざるべし今後の成行は市價の如何と天候の如何に依るが要するに硬軟勢力の消長如何によりて波瀾を生ずる事多かるべし

●粉米益々好勢

は正米の如何に拘はらず近來引續き好勢にして移出口は目下仁川渡し一圓二十錢次物十一圓見當にて

二三十錢高

を呈すると共に前後の不引合なるの時に際し曩にみ斯くも好勢を持續しつゝ米輸入杜絕の折柄內地需要の鮮米の需要を漸增しつゝあるなりさ

●米餅は不賣

行きの盛期を過ぎたると共に例年に比し價格高位を保ち居るより本年は何れも切上げたるに警戒の態度を取りつゝあり翻月輸入品に對しても備ふさざるのみならず對しても躊躇を爲せる有樣なるも地場取引は殆ど相入なく向きして何多少の望口なるの狀況なり現在品は二十圓見當を呼ぶも捗々しき取引なく又々多少の荷ありといへば

愈々豫想値の十四五圓は遠ざからべし

●明太魚氣直る

は頃來稍々氣弛み模樣なりしも昨今又々氣勢を挽回し

見當二十一圓

の取引を見るに至れり產地しも物は此處…

●浦鹽鮭次第安

鮭は新規入品のある每に下押し昨今に於ては上物一圓六十七錢次品二十三四錢見當なり

●夏柑は持合

依然少なからず荷物も何等相當捌け居れば相場は矢張り一圓四五十錢裸物一圓六十錢を支持し居れり

下關相場

▲朝鮮白米も行惱へ其後因り無く…たるのみならず元米內地…なるより自然賣氣の進み…後の賣れ行き捗々しからず行惱へを呈し出來値は左の通りなる
▲小豆は格別狂はず本品は…一向賣れ行き捗々しからねのみならず廿九日の如き夜來の暴雨と共に殆んど商內皆無とも云ふべき有樣となりて市況引立つべくもあらず
▲色豆類は弛まず依然として…の賣急がざるに依り格別の氣配なく何分産地の安からねに連れ…
▲大豆は依然氣強し其後…元山物八十叺フリツ米等の輸入ありしが依然…合み宿に各手持筋の氣張り…必需口の如きは自ら引きにて…有樣とて相變らず人氣強…二百叺許りは十四圓五十錢…はれ其他夥々の出來値は左の通り

品名	値
朝鮮白米一等	十三圓二十錢
同二等同	七十三圓…十錢
朝鮮白米二等	十四圓二十錢
端川淸津大豆	十四圓四十錢
元山大豆	九圓五十錢
フリツ米大豆	九圓九十錢
同青大豆	九圓六十錢
慶山大豆	九圓八十錢

京城正米

頭日來人氣安値きの折柄米新市の發會は大阪不勢とに一層氣味が惡しからしめたり午…

京城雜穀

前中は商內なかりしも見當としては神力種の十四圓八十錢在來種上物十一圓四十錢位なり

小豆はマサ口上物八圓九十錢位にいふ處其他の物も概して持合なり

南大門の廻穀

三十日分

品名	數量	品名	數量
水原白米	一八〇叺	南川米	一九〇叺
大田大麥	一三〇叺	餠米	一五〇叺
小井里玄	一〇叺	金谷米	一四〇叺
水原玄米	一六叺	金谷米	一二八叺
…	…	鍾川穀	一七三叺

仁川現物市場

▲期入津なし　氣配大阪の期米大暴落を受けて安人氣を唱へ居れり
▲正米入津なし　現角天候不良にて氣配相立ち不申ず大阪期米の大暴落を受け安人氣の唱へなる商談一向捗々敷からず
▲大豆入津なし　氣配依然保合の狀況

釜山市場　三十日

▲正米(保合)　賣り物は多数ありあらざれども餘り乏しからず買人の多くは精米筋にして移出口は少數の日本種上品の買ひ望みに限られ…只特安品のみは一向引き付かず…保合なり
▲大豆　賣り物少なく値かに八個に付ても見當相場は依然同様なるが…小麥　不味の商狀にて九圓二十錢にて…

仁川期米

五月一日前場

十一錢安新甫

前場　當中十四圓六十錢　先十五圓四錢

三十七錢上鞘

暴落移り

六十錢と十五錢の上鞘に發會

八十錢と安移り　大阪九節

市場零聞

新甫發會す

米の前場の…は…新市七月限は今朝來大阪の暴落を受けて存外の薄鞘…十錢なる發會したる…

仁川米豆取引所

一日の七月限

前場	寄	高	安	止
一節	十一圓六十	…	…	…

平均値段	
一節	十一圓六十…
二節	十一圓六十…
三節	十一圓六十三
四節	十一圓六十七
五節	十一圓六十九

賣買取組高

限月	賣買	取組高
五月限	五千石	三萬八千五百五十石
六月限	…	…
七月限	…	…

出來値比較

	前日	比較
三十日前場	一四九	一二高
四五二	一四一	一七高
…	…	二二高

▲中限依然强硬

前場は今朝大阪の大暴落を受けて十一圓四十五錢より…三十錢と押したるも大阪の跡を受けて四十七錢と依然强い…

▲中限の存外强

▲前場の奇觀

▲天候不良

▲中限解商內

▲取組高は減少

▲發會盛況

新甫發會の際入…

▲高見買に就き

市場の怪偉高見筋の買に就き目下…

北濱だより

▲砂糖株買覗はる

砂糖株は今期決算期の迫るに伴れて其の營業成績の良好である…

小賣白米

升	上	中
上白米	十四錢	十三錢五厘

演藝案內

御成座　電話二九一御成座

卅回目藝題
一番目　武士的教育　八場
二番目　喜劇洗濯袋　四場

[藝者連名](石黒…)(花房…)…

黃金館　黃金町四丁目　電話二六三七

天然色活動寫眞株式會社…一手代理店
●四月二十九日より差替特別大寫眞
○實寫　佛國キュウ公園の散策　○滑稽　インブルと…
◎新派悲劇『女夫岩』全三十八場
◎泰西大活劇『電線美人』最長尺
◎教育參考史劇『義經實記』全五卷

壽座　本町　電話五七八

▲改正義團一行
五月二日藝題　ジョン、チャーレス…

大好評……黃金館

◎新派悲劇　女夫岩　全二卷
◎泰西大活劇　電線美人　最長尺
◎歷史參考史劇　義經實記　全五卷
義太夫　竹本越吉出演

浪花館　明治町　電話二六〇番

大阪女義太夫大一座
一日目(二日)語物
◎御祝儀寶の入船(入登)◎お駒才三
鈴ケ森(達昇)◎御所櫻三段目辨慶上使の段(長春)
伊賀越六つ目平作腹切の段(長春)
先代萩御殿政岡忠義の段(伊達若)
三勝半七酒屋の段(團昇)
野崎村の段(總一座掛合)
▲毎日晴雨に不拘午後正六時開演仕可候

壽館　電一〇五〇

諸君啓時下春暖の候貴殿益々御清榮奉賀候陳者…

大正館　櫻井町　電話八七三

國產獎勵と朝鮮牛

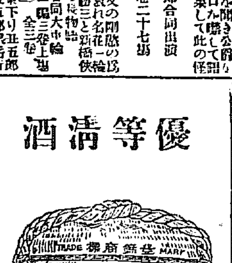
朝鮮牛の特徵

▲見落す勿れ畜産農業界▼

▲性質温順にして勞力粗食に耐へ酷寒三伏の候と雖も原野に臥するも疲勞病魔に侵さるゝ事なし
▲爪の堅牢なるは岩石を割るが如き堅固無比なるが故に數十里の山路石道にてもクツを穿しむる必用なし
▲近來朝鮮牛の佳良なるは諸點の完備せるに依る之れ農家畜産界の一大福音として賞讚せらるゝに依る
▲輸送は朝鮮及び日本內地に於ける鐵道運賃の特約と關釜間に於ける輸送は汽船により迅速確實を以てせり
▲農業家畜產界の諸彥益々御引立あらん事を奉願上候

活牛移出問屋　上杉古太郎商店
釜山鎭驛前　電話一〇三七番

優等清酒



京城永樂町二丁目
發賣元
本莊酒店
電話京城六五二六・四〇番

急告

多少に拘ず最低價御申込に應じ可申候

鑛山火藥

多數新荷着庫入致し申候

ダイナマイト

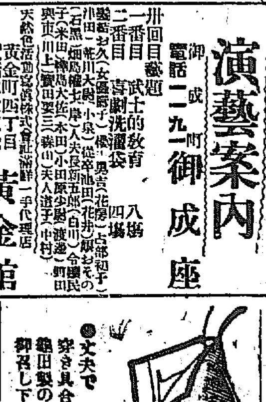
外に雷管の導火線在庫品豊富に有之候

仁川仲町　共榮社　商印

◎タングステン高價買入れ仕り候

□□□重石鑛（十パアセントより七十パアセントまでの品高價現金買仕り候）
□□□優良なる（七十パアセント以上の品は一斤三圓替にて何程にても申受け候）
□□□重石鑛主（にして代金前拂御希望の方には鑛夫賃金並に諸費用立替申上候）
□□□弊店は（唯だ重石鑛のみ希望致し候間價額は充分の御相談仕るべく候）

京城貞洞二十五番
ジョージ、アーレン商會



●丈夫で穿き具合よき龜田製の靴を御召し下さい
●御注文は足袋文數又は紙に足の形を畫き送る事
●營業品目　靴　鞄　其他…
東京市芝區…　龜田靴店

▲京城溫度　一日正午　京城測候所　…度

汽車 [illegible]

宮本武藏

第二十五回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

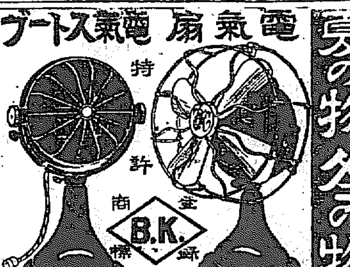
宮本は會釋をして奥の客間へ通る、煙草盆や茶は勿論出る、源藤治其に出て 源『武藏先生豫て御大名は承知いたしましたが、拙者が山本源藤治でございます……武藏先生も分らぬ下席へ退つて 武『拙者は宮本武藏でございます、お出迎ひを下され又只今は始めてと仰ッしやるは何う云ふ譯でございます、か承はりたうございます 源『私もお聞き申したいのは御大名は承知致して居るが一面識もない私と兄弟同樣別懇と仰つしやつたはドウいふ譯でございますか、其を先きに承りたい 武『御尤至極でござります、拙者の配偶の親と申す者が有川軍刀齋嚴流、江戸表へ參つた佐々木岸柳、軍刀齋を[illegible]の如くに申したを殘念がり、遂に切腹を致した、舅が殘念に思ふ心を相續いたして、遂に岸柳子弟三人の者を目黒行人坂で切倒したが、岸柳には三千人の門人があるといふことを承知いたす、居乍らにして敵を待つて居るは卑怯の至り國元へ參つて勝負を致さうと江戸表を出立いたした、然る所箱根の山中にて關口彌太郎先生にお目に懸つた、承はれば眞の岸柳は肥後の熊本に居て、江戸で斬られたは僞せ岸柳で澤田杢左衛門と申す者、然うして見れば拙者の爲めには舅の敵、岸柳の爲めには門人三人の仇、天下、三名人の岸柳を討ちたいと云ふ拙者の願ひ其には暫らく修業をなさんと御當家へ參つて一手二手御指南に預りたいと心得別懇にして兄弟同樣といへば御門下を通して下さるだらうと考へて貴殿方へ兄弟同樣別懇の間柄と云つて參りました、然るに御咎めを蒙り切腹いたさうと心得た處にお出迎ひを下されて危ない處を助かりました、何卒岸柳と見苦しくなきやう勝負を致したうござりまする、故に一手二手御敎授に預りたうございます 源『其は宜いことをなされた、拙者は貴公にお敎へ申す手の内ではございませぬが、お對手をいたすで御坐らう、宜しければ年内は當個所に御逗留なされますやうに……武『其は千萬有難うございます 源『其に就いては身分は輕くとも上からの人でござりまするに依つて、御門を僞つて通つたといふ事になすつて相濟まぬ、何處までも前より拙者と別懇といふ積りでなければならぬ、其の打合せをして置きませう、何方で貴方と懇意にした積りに仕ませう、是から御遠慮なくお打合せを願ひたい 武『宜しく御差圖を願ひます 源『拙者は江戸表へ參つた事はないが貴公は名古屋へお出での事はござりましたか 武『拙者は初めてでございます 源『江戸へ行つた事もない名古屋へ來たこともないものが別懇になり樣がない……宜しい私は十箇年前上州厩庭の樋口の道場に修業して居りましたから上州厩庭の樋口の道場で貴公と拙者と兄弟の約束を結んだと致しませう 武『成程、其は大きに 源『拙者は當年四十三になります武藏先生は……武『私は三十二になります 源『宜しい貴公は二十二の時、拙者は三十三の時兄弟分になつたと致しませう、年長でございますから不肖ながら拙者が兄分となります 武『宜しく伺うぞ…… 源『そこで拙者は津島の牛頭天王神社の神官の倅で、津島は名古屋から五里ありまして以前は源次郎と申しました、只今は舍弟が相續いたして居ります貴公は…… 武『私は前名七之助と申しました、十五歲に元服して武藏と改名致しました 源『御兄弟は…… 武『舍弟が一人あります當年二十五歲になりまして左織と申します、父は伊織と申します 源『御配偶は…… 武『石川軍刀齋の娘で八重と申します 源『宜しい拙者は倅一人あつて源次郎と申します、只今是へ連れて參りまするが、然ういふ事に定めやうお口が違はぬやうに願ひたい 武『畏まりました……』武藏先生先づ大安心をした處へ源藤治の妻か子供を連れて參る源藤治先生 源『扨て武藏先生誠に暫らく、これは拙者の妻で拙者同樣御別懇御贔負に願ひたい……』武藏は手を突いて 武『拙者は宮本武藏と申します、何分御贔負に願ひます』と叮嚀に挨拶をした

花よりもまづ木村屋のパンの味
京城明治町木村屋電話二八七〇番

五月三日九星
舊四月二日 庚子
本命四緑 巽 成 大安

[illegible]

電氣扇 ブートス電氣



夏の物冬の物

本店 東京市京橋區尾張町二丁目(電新二四三)
工場 市芝區高輪北町五三(電芝二四三二)
支店 大阪市東區心齋橋筋博勞町(電南二三〇五)
横濱市吉田町一ノ二九(電二九三)

サンデン電氣商會

運は腦にあり

幸運を攫得したき人は須らく頭腦を開拓せよ

健腦強精法は無代贈呈

●腦病のいろ〳〵

只一口に腦病と言た丈では素人の方には充分おわかりならぬことゝ思ひますので爰に一寸腦病の病狀を概略說明して置く。腦病の中には常習頭痛症と言て始終頭痛のするのもあるが是れは中年以上の人に多く、青年の腦病と言へば概して腦神經衰弱症と言つて所謂ボンヤリした人間になつてしまふのである。病原には種々あるが腦神經の過勞から起る場合が多く又胃腸病や耳鼻咽喉呼吸器病のコヂれたもの、一般花柳病から來るものなど千差萬別であるが、總じてこの腦神經衰弱に罹ると不眠症を起し易く想像力が盛んになり記憶力が非常に減じ、今聞いたばかりの事を胴忘れして置場所を忘れたり、又一つ所を凝視て居ると眩惑がしたり、目先がチラ〳〵星がトブ樣なことがあつたり、書籍を讀むでも意味が分明しない、且つ性格が一變して性來温厚主の如き人が急に冷熱激しい偏屈人となつたり頭痛がして逆上がしたり、通じが惡く短氣となり氣六ケ敷なり何を見ても面白くなく何を聞ても嬉しく感じない、肩が凝つたり耳が鳴たり、氣分が惡く頭は押へつけらるゝ樣な心地がするものであります。

●腦病患者の末路

腦神經衰弱病に罹ると十中八九自暴自棄となつて現世から葬り去られる者が多いのである。如何勉強しても目的が達せられぬ、如何精勵しても少しも事務が擧らぬ、精力が缺乏して居るから他人のする仕事が出來ぬ勇氣がないから生存競爭の重荷に堪へぬ。而も自分の腦の惡い事は棚に揚げて兎角他人の成功を羨み、其の結果常に不平か滿々として現世を悲觀する氣になる。いつも浮ぬ顏をして疎に社交が出來ぬから、他人から指彈される、何處へ行ても仲間はづれで面白くないから宅にばかり閉塞つて居るのが何時か習慣性となつて出無精な人間となり、手持無沙汰に日を送る中詰らぬ事を其れから其れへ苦勞にして身で身の病氣を段々重らせ、氣がふら〳〵と變になつて飛むだ事を仕出來す人も世間には隨分あります。結句腦神經衰弱は有爲の青少年を咀ふ世にも恐ろしき亡國病であるに拘らず、從來は腦病の爲めに失敗した事を皆運が惡いと運の故にして居るやうであつたが、是が抑も間違ひの始りである。運とは即ち腦の活力の事で、幸運を攫りたいと思へば腦を健全にする外はないのである。

●如斯新治療法あり

今や腦神經衰弱症は現代青年の上に影の形に添ふ如く纏綿として絡ろ患はしい病氣で、世の中が文明に進めば進む程、生活が困難になればなる程、又生存競爭が激しくなればなる程斷るにも斷れぬ因業な魔の手を擴げて吾人の身を苦しめるのである。そこで常持醫學士は此の惡むべき病魔を何とかして退治したいものと多年研究の結果遂に良劑レーベンを發見せられた。多數患者を救濟せられつゝあるは今更喋々するを迄もないが世には兎角迷ひ易い腦病患者の弱點につけ込み殊更社會の廢物視されて居る狂人博士の名を騙り又我徒の說明書を其の儘剽盜して世を欺瞞せむとする似而非腦病藥が最近現はれたさうだ。常持學士のレーベンは如此山師的のものではない、岡田博士初め諸大家の證明ある良劑である。レーベンは他の腦病藥と異り一般米食人種たる日本人の體質に適するやう特に植物を採取精製し、之を主劑とし殊に最高貴藥『リンサン』を多量に含有したものである。『リンサン』は御承知の通り腦髓唯一の營養素で、腦の活力を助けて根本から健全明斷ならしめるのである。由來腦神經衰弱の人には勿論、性來頭腦の遲鈍な人にも驚くばかりの効果があり。氣力を增進し、總て身體を丈夫にする方今無二の健腦良劑であるから腦病患者は此際他に迷はず一刻も早くレーベンを試すべき事である。

●簡易治療法を學べ

尙ほ東京市銀座弓町二二、弘濟院中南定太郎氏に於ては大方腦病患者の爲め先年來レーベン發見者常持醫學士著の『腦神經衰弱療法』と『精神療法』の二冊子を無代送本し來つた處非常な好評を招き日々無數の申込に接しつゝあるが、同書は腦神經衰弱者が自宅に於て簡易に學び得るやう最も親切に說明した治療書であるから、若し他の書を讀むの暇があらば此際猶豫なくハガキで申込むで無代送本を乞ひ速かに治療の法を盡くされるやう切にお薦めする。

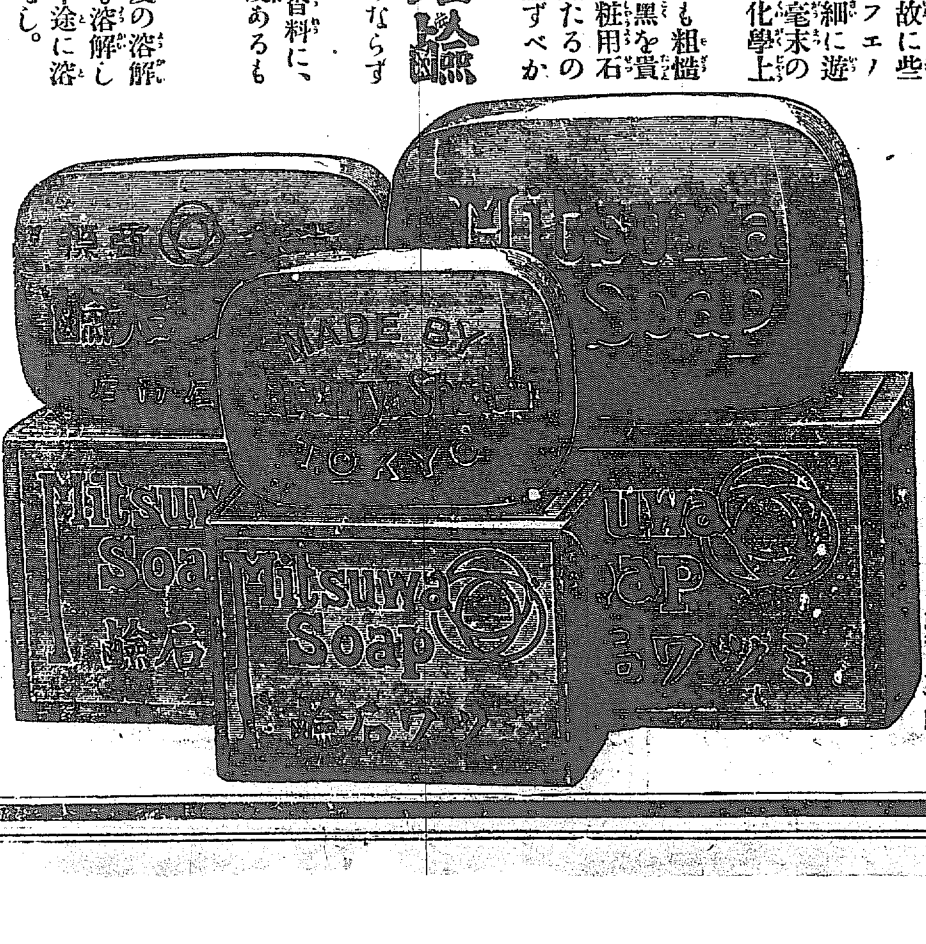
ミツワ石鹼

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず、更にフェノールフタレインを以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす。

皮脂の分秘量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

◎ミツワ石鹼は化學上の純石驗たるのみならずなほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。
一、温雅の芳香を有す。
一、細き泡沫を生ず、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。



故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する、理想的實用石鹼なり

▲賣捌=全國到る處の小間物店。化粧品店。藥舖。洋酒食料品店▼

擔任技師 工學士 藤野太治郎 工學士 越智主一郎

本舖 ミツワ石鹼 ミツワ椿油 ミツワ家庭藥 肝油ドロップス 御園化粧品

發賣元 登錄商號 ◎ 丸見屋商店

東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋

電信略號(〇ミヤ)
振替口座東京七一〇〇番
營業部電話 [illegible]

(明治四十年十一月十日第三種郵便物認可)

京城日報

第二版

二日朝刊(夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 郵税共三ヶ月金壹圓九拾五錢(郵送に限り)
廣告料 △五號活字一行金七拾錢 △特別欄內一行金壹圓 △指定一行金 △二號活字同 △一號活字同
發行兼編輯人 奧山直 印刷人 宮口政太
發行所 合資會社京城日報社 太平通一丁目
電話 編輯 營業 振替貯金口座京城三〇〇番

六月限 三三、〇〇
七月限 三三、四〇
八月限 三三、五〇
寄付 高値 安値 止め
▲現物界 にて將來の不引合を唱へ居りしが大阪定期の暴落を受けて 米筋の見送り

一日の七朔

五月限 三千六百石
六月限 三千七百五十石

五日までの漁獲高は一日一隻に就いて平均一圓以上四圓までにして昨年

支那人王某より阿片及び阿片吸飲器を借入れて所持したる爲め鍾路署に

(三十)は二月中觀水洞居宅に注文取りに行きて洋傘一本を窃取し京城地方法院にて笞刑處分さる

京城日報

吉長吉會兩線

日支條約により、滿蒙に於て獲得したる我利權も、帝政勃發、革命蜂起と共に、未だ之れを實際に應用するに至らずして、今日に至れり。支那の動亂は、何時に至つて其の終局を見るやは疑問に屬すと雖も、滿蒙開發に對しては豫め今より備ふる處なかるべからず。四鄭鐵道の速設も可なるべく、吉長鐵道の改良も必要なるべし。殊に吉長鐵道が吉林省の富源を開發する上に、速に萬事の改良を行ひ、以て充分に運輸機關の本分を發揮せしむるは、今日の急務たり。現に同鐵道は支那交通部の經營に屬すと雖も、其資金の半額は滿鐵會社より之れを供給し居れり。然れども猶ほ資金の不足より、全線中千八百尺の隧道工事は、未だ竣工し居らざるが如き現狀にあり。近時日支條約に基き、滿鐵會社は資金の全部を供給し、以て同線を其社の經營に屬せしめんとの議ありと、洵に當を得たる次第にして、同線現狀に於ける收益より見るも、既に毎年二割以上に上り居れるを以て、滿鐵會社引受け經營の曉に於ては更に多大の收益あるは明なり。滿鐵の投資亦此處に見る處あるべし。

吉長鐵道に對する滿鐵會社の放資は、無論贊成なるも、吾人は朝鮮よりの立場として、吉長四鄭兩線以外に尚ほ一層の速成を希望するは吉會鐵道線路なり。吉會鐵道とは即ち吉林より我會寧を經て清津港を聯結する一大線路たり。同線路も支那交通部にて著手するの計畫あるが如きも、現時の支那政府にては、恐らく資金の出所無かるべく、されば計畫も遂捗の運に至らざるべし。吾人の希望する處は、滿鐵會社にして吉長線の經營に當らば、同時に吉會線の經營を共にせられん事なり、試みに思へ長春より吉林に通ずる各地方の富は勿論、富裕なる吉林省の各地より輸出さるゝ多くの物資は、全部吉會線の呑吐港として、且つ比較的近距離に存在する清津港に輸出せらるゝに至るべく、從つて北朝鮮の富を增加し、地方を開發するは邦家の慶事と云はざるべからざる也。滿蒙を開拓し、朝鮮を開發するは、吾人殖民地人士の責任にして、邦家に對するの義務なり、一日も忽諸に附すべからざる所なりとす。吾人は更に繰り返へして、吉會線の速設を冀望して止まざるもの也。

赤十字社員內地觀光團を送る

日本赤十字社朝鮮支部社員四十五名は、同社總會參列を兼ね內地風物觀光の爲め、今二日午前八時三十分南大門驛發東上の途に就けり。內地觀光旅行は、之迄毎度擧行せられたるも、內鮮人男女を一括したる團體の、觀光旅行は、實に今回を以て嚆矢となすべし。而して其等團員が其職業に於ても、亦區々別々なるが故に、其の視察の効果が、各方面に現はれ來るべきは今より疑を挿まざる所なり。然も內地人の多くは久しく京城或は他方にありて、風俗習慣を詳にし居れるが故に、一方朝鮮を內地に紹介の上に於ても亦多大なる効果あるべきを信ず。吾人は斯る內鮮人の觀光團が、母國に向つて續々視察の途に上るべきを喜ぶものなり。內地の春光は既に徂いて、今や新綠愛すべきの候なれば、諸君の到る處母國の山河は、新裝を凝して遠來の珍客を迎ふべし。切に一路の平安を祈る。

上杉鷹山公(四)

內務部長官 宇佐美勝夫

果せる哉、安永二年同二十一歲の時の事遂に勃發し、七名の重臣は或る日早曉狀を連ねて登城し、強いて公に面謁を請め、數百萬言に涉れる連署の冊子を上りて國政の不可を論じ、竹股、莅戶等を退くるにあらざれば則ち已等の罷められむことを乞ひ、以て公の即斷を迫れり。公七臣に向ひ懇諭する所あれども聽かず、又頑として席を離れず、曉より十時に達するも尙ほ退かず、益々狂激して無禮の言辭を弄し、且つ曰く、今公にして臣等の言を容れずむば臣等直ちに江戶に赴き幕府に訴ふる所あらむと。公已を得ず入りて其の父重定に告ぐ、重定怒り出でて之を叱し、七臣漸く退く、時方に午時なり。他の諸臣亦悉く退出し、政府一時空虛となる。治憲乃ち一日を隔て、大目付其他の諸有司を招集し、糺すに冊子記載の事實を以てし、直に七臣の罪を論じて之を處斷せり。此の事たる實に新藩主に對する最大の打擊なりしが、公斷々乎として正義によりて之を處し、毫も假借する所なく以て益々國基を固くするを得たるもの一に公が英邁の資質に依るものと謂はざるべからず。

更に政治上より觀察するに治憲の經濟政策も時に一張一弛なきにあらず、分つて是を三期となすべきが如し。

第一期は積極主義によりて鋭意國を富まし民を裕にするの策を取りしも事業過大に失し未だ功績を見ざるに借財先づ滿ち如何ともすべからざるに至れり。

第二期は之に鑑み消極主義を取り分限相應の施設計畫を立てたりと雖も規模過少にして成績の見る可きものなく、又儉約節行の結果貨財愈々乏しく金融の途絶ゆるに至れり。

第三期に於ては第一期第二期の弊に鑑み內大儉の實行と共に外富國の策を立て、彼此折衷して以て漸く財政の基本を固くするを得たり。

以上繼述せし如く治憲幼弱にして封を襲ぎ、君威尙ほ未だ樹つに及ばず、時に、失敗なきにあらず、然も千古の明君として德澤百歲の下に流るゝもの抑も何の故ぞ、是れ人の知らむと欲する所にして余が茲に言はむとする所なり。

明和四年四月二十四日治憲始めて家督を承繼せし時の歌に曰く

うけつきて國の司の身となれば忘れまじきは民の父母

同年八月朔日江戶より內使を米澤に遣はし春日社に左の誓文を奉らしむ

誓詞

一、文學壁書之通無怠慢相務可申候
一、武術右同斷
一、民の父母之語家督之砌歌にも詠候得ば此事第一思惟可仕事
一、居上不驕則不危又恵而不費之候語日夜相忘間敷候
一、言行不齊賞罰不正不順無禮無之樣慎可申候

右以來堅相守可申候若怠慢於仕者忽蒙神罰永可家運盡者也仍如件

明和丁亥八月朔日
上杉彈正大弼藤原治憲
敬白 花押

此誓文は慶應元年春日社の火災の際始めて發見せられたるものにして明和四年を去ること九十九年其の間絕えて人に知られざりしものなり。知るべし公が襲封の當時より諸老臣の抗議を恐れず、斷乎として大儉を實行せしは、實に此の如き決心に出でたるものなることを。

放浪漫記

(三月十八日マンヨプリにて) 大谷光瑞

八日ベナレスに到り鹿野林の靈塔を奉ず前年より著しく修理を加へ發掘せる諸像も皆一舘中に陳列し秩序整然たり、此地は東部に於ける印度教徒の靈地にして啻に東部のみならず全印度中ベレナスの名は印度教徒には無上の快感と尊敬を與ふるもの、如し從つて富豪の老を養ひ死を待つ者皆茲に來り死せんことを欲し年々死亡者出產數を超越せり、是れ此地の不健康土なるが爲めに非ず死を欲する者集まるを以てなりと云へり、要は恒河に身を投じ死するもの多かりしも今漸く跡を絕てり、然れども街上猶苦行の婆羅門頗る多し二億の印度教徒は皆此の地に恒河の靈川に浴せば罪障を洗除すると信じ沐浴に來るもの亦多し。此を去つてラクノーに至るラクノーは聯合州第一の大都會にして人口二十萬を過ぎ街區整然たり、此の地の博物館に發掘せる諸像を蓄ふること頗る多し、此の地は西曆一千八百五十七年の內亂の時英將の堅守せし所にして當時の戰亂を示さんが爲め殘破せる家屋を遺せり英將ローレンスの此の地を堅守するなくんば全局の勝敗未だ逆睹すべからざりしならん、此の地に至つて旬日常に西部より連續東走せる淺薄なる低氣壓の東南方に在るを以て氣溫著しく上騰しアブ山以外は日午九十五度に達し困難云ふ可からず漫遊の旅程は猶ほ數所を剩すと雖も意を決して雪山に直奔いたし候、十一日午前八時カルカ著是より二呎六吋の最狹軌登山鐵道にてシムラに向ふ、勾配は明かに見ざりしも三分一前後ならん、屈曲最も銳くして二百五十尺の半徑に過ぎざるが如し、山上に近くに從ひ溪間の人家に桃李頗る多く春色頗る佳なり。シムラは印度總督の住せる所にして大廈高閣頗る多し、然れ共風景はダーヂリンに比せず著しく下位に在り、唯だダーヂリンは雨多く日なきも雲多く山の大觀を見るは僅かに冬季に過ぎず避暑期の最も人集まるの時に雲閉く鎖し展顏の喀を望むべからず、此の地は雨少く雲稀にしてダーヂリンの如き大觀なしと雖も猶クトルー地方の峻嶺二萬餘尺の連障の如きを見る可しダーヂリンの毎年降雨日數は百二十一日を算しシムラは八十五日に過ぎず而も甲は概ね夏季に屬し乙は其の半を冬季降雨とす、雨量は甲は百二十一吋にして乙は六十三吋にて其數量に於て既に半なるのみならず冬季陰雲を除けば夏季は降雨は三分二に過ぎず(未完)

大阪財界便り

△露國軍需引受 大阪市某店は今回露國より軍用水筒十萬個背嚢五十萬個、スリッパ二十五萬組(價格百萬圓)の註文を受け既に假契約を完了せり受渡期限向ふ約三箇月代金は當地に於て現金引替の由なるが本契約は來月五日浦港に於て締結すと

△甲航配船決定 遠洋各航路共船腹不足を訴へ居れるが就中不足せるは甲谷陀航路にして阪神兩地のみにても一萬噸以上の雜貨停滯し對印貿易業者は非常に困難し居れるより郵船本支店に向け臨時船の配船を再三懇願し來れるを以て郵船にても荷主の爲めに今回辰馬汽船部より第六多聞丸(重量四、六〇〇)を一噸當り十四圓にて傭船し五月二日神戶發甲谷陀に向け直行することとなり之にて對印荷主は至急を要する貨物を輸送し得るを以て非常に喜び居れり而して運賃は特に社外船を傭船せるを以て定期船雜貨運賃より七圓割增十八圓に荷主側より決定し郵船會社に申込み來れり左れど甲谷陀航路は一と航海一箇月半を要するを以てチヤーター料のみにても噸二十一圓を要し其の實際の積荷は三千噸を超ゆる能はず且此の外石炭消費、碇泊料、入津費を加算さるゝ時は一噸四十圓に該當するに拘らず雜貨十八圓にて積取るを以て荷主側にては非常に郵船の犧牲的臨時の特發に付ては感謝し居れり尙定期船は臨時船の出帆の豫定なるが臨時船仁川丸は五月五日神戶出帆の豫定なるが臨時船の十八圓と仁川丸の十一圓とを平均する時は十四圓五十錢にて彼岡の十六圓に比較すれば荷一圓五十錢の値開きあり勞々對印貿易業者の受くる利益は頗る多大なりと

△近海運賃低落 近海運賃は前報後更に軟弱の歩調を辿り標準運賃たる門司濟南の石炭運賃は噸三圓二十錢內外より昨今は三圓に低落し其他各線共下落さの姿なるが近海々運の本季節なれば追ふ〳〵活況を呈するに至る可しと大體に於て樂觀され居れり

△ト業復活氣運 內地のトロール業は近頃に至り復活の氣運に向へる由なるが其理由は一時斯業の衰頹せし當時一般同業は之が經營に堪へずして事業船を繫留し若くは金融の爲め他に擔保に提供したし如き一居不振に陷り、折柄時局の關係其他にて船腹の缺乏に逢著したるを以て自然共事業船が運送船に改造されし等に伴ひ同業者は意外の收利を占めし上に事業船數の激減は同業の競爭を緩和し且つ狹少の漁區に對する配船上の都合先づ宜しきを得たる由にて以來從前に比すれば漁獲上の成績も良好の模樣あり漸く等にて勇々斯くは再び活路に向はんとするに至りしなりと傳へらる

△中支取引打擊 支那の動亂は漸次擴大し就中本邦對支貿易上重要なる關係ある上海漢口を中心とせる長江筋一帶は動亂の影響を蒙り昨今俄に商況不振に陷り且長江の減水と共に上流各地の貨物輸送激減し漢口附近は輸出入共貿易杜絕の狀態となれり之れが爲めアンチモニー豚毛其他の工業原料の取引不可能に陷り從來長江方面の取引を爲し來れる本邦貿易品は一大打擊を蒙り最近に於ては北支那方面の取引を新に開始する者尠からず尙上海航路船舶は相當の積荷あれど這は先物約定品の積殘り品にて新規の積出しは非常に減少せりと(大阪支局)

パコダ第二俳座句抄(四)

草餅(兼題)

王に招く和蘭街や草の餅 句平
麥酒古く草餅新し婆が茶屋 九分
雛出して子供ねだるや草の餅 大柿
濁酒あり蓬餅あり村の茶屋 九分
草餅に喰ひ敗れたり大男 不案
恒例に奉るもの、蓬餅 南部人
馬かじる柳立つ草餅を賣る 台水
能く喰ふ小さき客や草の餅 皐天
草餅や多く語らぬ女客 苦露
草の餅造つた主は嫁御寮 長城
女客つゝましやかに草の餅 苦露
春の野の色香もある草の餅 長城
日眉を氣にする嫁か草の餅 大眉
夕陽馬蹄で草餅の茶屋を出づ 崖城
姉よりも妹よく喰ふ草の餅 不案
草餅の濕れ色な萎の亦に 鳥堂
旅立やポプラ並木に草餅を賣る 大眉
孵卵器にむり寄る入草の餅 句平
顯膝につく餅草に摘居り 鳥堂
古刀拭ひ居る草餅反れり 台水
篆刻の刀に受けたる草の餅 魚竹
草の餅何作を使かへしたる 同
草餅や敵人の孫と物語る 南部人
二つ三つ四つ頰張る草の餅 大塊
料理屋に草餅なんど日永人 喜久女
草餅に何作る人の默し居り 靜軒
村娘の總草餅の色深し 同
泣去る草餅の一つ殘りけり 皐天

京日詩壇

○松坡雜詠 栗原華陽

居卜松坡雅趣深。青山綠水慰吾心。春
秋宜釣儘浮艇。冬曉獵遊忘苦寒。食
隱匪此地意悠悠。十里長江浩蕩流。
有鱸魚尊有酒。倚欄弄笛月中樓。
雲樹蒼茫是漢陽。鷗天鷺地興偏長。不
貪暴利人醉朴。眞箇安心立命鄉。
不絕四時吟客游。江山以外有來由。當
年淸帝巡行處。記得豐碑在岸頭。

評曰 首々能寫風土、清穩而無倨傲之態、吾見開臥之樂眞可羨也、

學生 大町桂月主筆 六週年記念號
太平洋橫斷の日本船(村上外國) 疑問の獨皇太子 名作梗概 腦の問題 小品水彩 懸賞新案謎
學生英字新聞 高等學校入學試驗(田畔柳俱教授) 空氣から火藥の製造 英文優等生 初夏の衛生(佐野博士)
記念大附錄 五大傑僧 傳教大師 弘法大師 承陽大師 親鸞聖人 日蓮上人
東京神田 富山房 振替一〇五

公告
一 安岳地方金融組合登記中出資總口數ヲ貳百四拾七口、拂込ミタル出資ノ總額ヲ貳百四拾七圓ト變更ス
右大正五年四月貳拾九日登記
海州地方法院載寧支廳

法人登記公告
一 長淵地方金融組合登記事項中左ノ通リ變更ス
一 出資總口數及拂込ミタル出資ノ總額 貳百九拾九口、五百九拾八圓
一 殷栗地方金融組合登記事項中左ノ通リ變更ス
一 出資總口數及拂込ミタル出資ノ總額 參百六口、壹千百五拾四圓
一 松禾地方金融組合登記事項中左ノ通リ變更ス
一 出資總口數及拂込ミタル出資ノ總額 四百貳拾壹口、壹千百貳圓
右大正五年四月貳拾九日登記
海州地方法院松禾支廳

大募集
官衙の證明援助ある五割益の事業 縣郡に特約し自轉車を給す直に申込まれ 東京市銀座南紺屋町 留字獎勵會

空中征服 これ大町主筆がスミス氏の宙返り飛行を見て泣いて執筆せる一大雄篇也
青年よ田園に行け 內相一木博士
苦學生の最大福音
產業革命時代
エネルギイ説と日下部博士

大陸婦人界
面白くて實益あり趣味ある家庭的雜誌界の新權威
お待ち兼の五月號出づ……(賣切れとならぬ間に御購讀あれ)
結婚の三大標準(戀愛中心の結婚はよくない)……阿部磯雄
朝鮮の善い點と惡い點
子寶(面白くて實益ある家庭的好讀物) 新渡戶博士
△世の母親へ……太田秀穗 △私の望む婦人 吉岡彌生 大陸婦人へ 山脇房子
人間の一生……宮田修
△子供の遊せ方(京城幼稚園主)
朝鮮に渡る內地婦人の心得
大隈伯の家庭
家庭と趣味
女中の使方
問題となれる悲劇
櫻咲く頃
一夫一婦の眞價 井上哲次郎
購讀申込所 大陸婦人界社

眼科內科 小兒科 本田醫院 京城黃金町三丁目赤門通(電話二四四三番) 入院隨意 院長 本田建義

朝鮮公論 五月號
は是を一名「鑛業號」とも稱すべく現下勃興せる鑛業を中心として編輯せり我社が如何に時運の趨嚮に順應卒先して天下の明衍と創望とに忠なるかを見よ
◎道長官論(必讀の決文字)……有馬易水
◎在鮮學閥觀(社同志)……泰山樵客
◎現下の經濟關係と日米親善……澁澤男爵
◎滿蒙を我が貨幣領域とせよ……田男爵
◎日露新協約と日本の國是……戶水博士
◎經濟同盟加入可否論 △經濟同盟と日本の地位 高橋是清 △經濟會議と日本の利害 安田善三郎 仲小路廉
◎冷語熱舌……玄波樓主人
◎各道重要物產(平南全北)……易水散史
◎官民人物評論
◎寺內總督訓示(道長官會議に於ける)
△無門有關 △松の賓 △公論餘滴 △奇談逸話 △公論文壇 △語者の聲
▼滿蒙問題解決の機……朝鮮公論社長 牧山耕藏
◎公開狀(勝田主計に與ふ)……不案迂人
◎鑛業出願處分問題 當局意見、鑛業家希望、一般實業家の觀察如何
▲初對面の印象 ▲各道長官……岡本桂川
◎社會評論……時岡欣堂
◎新處世訓……太田秀穗
△華族を縮めた女二人……石森胡蝶
▲春を浴びて……ひろし
◎特別附錄 鑛業出願者氏名及鑛區表
毎月一回一日發行 一冊廿五錢
購讀申込所 京城太平通 朝鮮公論社
▲朝鮮公論は拇國、臺灣、支那、滿洲、朝鮮の重なる書店に在り

獨軍戰線進展計畫
激戰の前兆乎=獨軍最後の努力

ナロッチ湖地方に於ける獨軍最近の攻勢は次で來るべき激戰の前兆とも見るを得べしされど獨軍の攻勢は必ずしも同方面にのみ限らるべきに非ず其の目的とする所は現在の戰線を進展せしむると同時に獨軍の計畫を敵はんとするにあり露國軍人の意見に依れば同方面の戰鬪は最後の努力にして到底失敗に終るの外なかるべしと(露都電報)

獨の攻擊と塹壕奪還

獨軍はドヴインスクの西方に於て攻擊を執りたるも自已の塹壕迄擊退せられたりナロッチ湖の西南方にて獨軍は猛烈なる砲火を送りたる後密集狀態を以て前進し曩に失へる塹壕を奪還したり(露都電報)

土軍の猛襲を擊退

亞細亞土耳古エルヂンガン方面にて露軍は土耳古軍の猛襲を擊退し敵軍を西方に驅逐したり(露都電報)

汽船擊沈

露國潜航艇はボスフオラスの附近に於て敵の汽船一隻及び帆船一隻を擊沈したり(露都電報)

陸軍異動

陸軍進級異動は二日發表の筈なるが少將より中將に陞進すべきは武田三郎、鑄方德藏、福田雅太郎、高橋義章、小池安之、山梨半造の六名にして福田少將は參謀編成の結果本部附に轉ずべく高橋少將以外の新少將は孰れも現職に留る由而して參謀本部二部長在外柴少將新任せらるべく其の後任には參謀本部中古參課長二名少將に陞進し一名は外國駐在武官に他は步兵旅團長に轉補せらるべく同時に佐官階級にも多少の進級異動あるべし(東京特電)

御誕辰祝賀

皇太子殿下御誕辰祝賀會は一日高輪御殿に於て御擧行遊ばされたり正午過ぐる頃より東郷元帥、波多野宮相、戸田式部長官は御召により參殿其々拜謁拜賀後立食の御饗宴を賜ひ軈て午後一時三十分に至るや淳宮、高松宮兩皇子殿下を始め東伏見宮、久邇宮、朝香宮各殿下御參殿大廣間に於て早川貞水の赤穗義士傳歐洲戰爭活動寫眞等餘興の御催しありたり(東京特電)

文武官敍位

一日宮中に於て敍位式を行ひ文武官華族二百八十九名に對し位階陞敍の御沙汰ありたり其の主なる者左の如し(東京特電)

敍從三位
文學博士 上田萬年
陸軍少將 山根一貫
工學博士 河喜多能達
同 朝永正三
醫學博士 荒木寅三郎
敍正四位

兒玉氏敍位

貴族院議員兒玉淳一郎氏病氣危篤の趣き天聽に達し三十日附を以て左の如く特旨敍位の御沙汰ありたり(東京特電)

正五位勳四等 兒玉淳一郎
敍從四位授勳三等瑞寶章

貿易依然順調

大藏省の調査に係る四月下旬の對外貿易は依然順調にして輸出二千三百六十七萬五千圓輸入千六百九十五萬圓差引六百七十二萬五千圓の輸出超過を示せり尚本年一月以降の累計は輸出超過總額五千七百十六萬三千圓に達せり而して輸出入を前旬に比すれば輸出は生絲、屑絲、羽二重等の激減にて二割四分減少し輸入は棉花半額に減じたる爲め三割六分減少せり(東京特電)

關東州礦石熱

昨今の朝鮮における如く滿洲にても礦石熱頗る昂騰し例の投機者も多少入込み頻りに誇大的吹聽をなし居れるが關東州管內普蘭店長寺山會附近に重晶石の產地ある爲め其の採礦權を得んとて都督府に出願するもの尠からず而かも其の多數は薄資無經驗の者にて眞に採礦の目的を有するにあらず單に其の權利を獲得し置き將來その權利を賣飛ばして大利を占めんと欲する例の投機的意思に基くを以て都督府にては輕々にその願に對して許可を與へず目下洲內にて重晶石を需要するは大連のソーライト會社のみにて其の採礦は直に製造工業の用に供せられ居れば前記長山寺會附近の重晶石礦地も結局同社に採礦せしむることとなるべく猶ほ同社にては他の方面にも廣く礦石產出地を調査しつゝありと(大連)

鞍山鐵鑛試掘

滿洲の鞍山站鐵鑛は遼陽、海城、鞍嚴其他の鑛山と共に日支合辦事業として其の試掘權を今回支那政府より許可せられたれば近く其の開掘に著手さるべく此の鐵鑛は元と滿鐵に於いて著目せるものなれば滿鐵と支那當局との間に合辦契約を結びたる上適宜の方法の下に採掘と共に製鐵事業の開始を見るに至るべし四鄭鐵道の敷設、撫順における窒素肥料製造に對するモンド瓦斯の供給擴張と共に之れも滿洲新事業の重なる一に數ふるを得べし然るに或る一部の說に據れば鞍山站鐵礦は謂ゆる磁鐵鑛にして溶解に最も困難なるものなれば其の製鐵業には豫め充分の注意を加へざる可らず磁鐵溶解には三千度以上四千度に近き高熱を與ふる必要あるが此の溶解に缺くべからざるコークスは撫順炭の如き軟炭にては其用を爲さゞるを以て山東省淄川の石炭を利用するかカーヂフ炭を輸入して之を利用するか此邊も研究問題なれば果して豫期の如き成績を擧げ得るや否や疑問たらずとせずとの事なり併し鞍山站鐵鑛については滿鐵において夙に調査研究せる所あり其の鐵鑛等に關しても多少自信の存する所あるべければ近く愈々試掘に著手し猶ほ其の鐵質を研究し追つて製鐵事業の上に適當なる方法を案出する順序とすべしと云へり(大連)

露國輸出計畫
朝鮮米販路の擴張

仁川精米業者は曩に會合を遂げ朝鮮米の販路を露國に擴張すべく決議せる結果其盡力方を仁川商業會議所に建議せるを以て同所は近く評議員會を開き凝議する筈なるが其結果總督府に請願して援助を乞ひ哈爾賓他の商業會議所と連絡を圖り又一面より露都方面へ輸出を試むべく東拓會社にても此新計畫に對し大に應援する所あるべしと

仁川船渠會社
創立委員會開會

仁川有力者の唱道發議により仁川ドツク會社を設立すべき事は先般來寄々協議中なりしが遂に其議纏まり一日午後六時より仁川ホテルに於て創立委員會を開會したり因に其設計者は仁川緒方工學士なりと

南鮮の產業を視る(上)
志村勸銀總裁談

余の今回の旅行は鮮滿に於ける經濟事情を視察し旁々大陸の風光に接せんとするなり今月二十日頃迄に大連を經て歸東の筈なり

▲南鮮の農工業 釜山に上陸して約一週日京釜湖南兩線の主要地を飛脚的に經廻りたるが各都邑共其の施設の整ひ母國人の移住多く存外內地化せるに一驚を喫せり、慶尙南北全羅南北の各道は概して平坦なる耕地廣く連なり氣候風土農業地として極めて適し居れるを看るに難からず然も予の一瞥する所を以てするも其の農法は極めて幼稚なる疎放式に依れるものゝ如く之れを集約的に耕作し施肥種子農具等を改善せば現收穫を更に增加せしめんこと決して困難ならざる可く信ぜられたり、或は朝鮮米產の餘りに饒多なる爲め內地の米價安を益々甚しからしめ第卅七議會に鮮米關稅復活案の出でたる如き怪しからぬ事實もありき然も斯の如きは務めにするもの、僻論のみ朝鮮米を外國扱ひにせんとする徒輩の論は耳を傾くるの價値なし在鮮農民は專心其の收穫の增加を圖り國富の前進を常に念とし可なり序で乍ら鮮農の耕作法改良は喋口にて說き筆に傳ふるのみにては効薄かるべく彼等の間に入り實際的に指導するを最も有効とせむ之內地農民移殖の急務なる所以也、無論是等の點に就ては總督府及東拓の如き十二分の意を配られ居るべし又水利灌漑施設の如き巨費を要するが爲慎重に調査し計畫するを要するも朝鮮農事開發上斷じて閑却す可からず、次に工業方面は木浦の繰綿、釜山、群山等の精米業を視察したるが概して朝鮮の勞働者は賃金安く勤勉なるが如ければ原料の生產が當局調査の如く豐富ならんか其の前途は刮目に値すべし資金不足の弊の如きは工業的素地あらば之れを內地方面より流入する事決して難事とせざるべし

▲財界將に活氣來 歐洲戰爭の影響を受け內地の財界は頗る活況を呈せり尤も地方農村は土地熱下火となり且つ米價安の爲め不景氣を喞ち居れど都市は一般に活氣充溢し事業界は殷盛目覺しきものあり之れ時局に基因する對外貿易の好調並に軍需品供給等の爲め正貨の激增を來し其の緩慢なる金融界の餘力が大勢に驅られて各種事業の資金に化しつゝある爲め也、さりとて新事業は早急に適當の人物を得難く又機械類の輸入困難に加ふるに新事業の起すべきもの少なく寧ろ在來の事業の擴張を有利とする等の理由により目立ちたる企業なく唯染料製鐵造船事業等の近く著手せられんとするものあるに過ぎざれど從來經營を續け來れる諸工業は多く其の事業の擴大に亟ぐに擴大を以てし生產品の增加を企圖せる者各地頻々として數ふるに遑あらず非常の盛況を呈し居れり、戰亂の終熄期今日に於ては猶ほ豫見し難きに付我國の事業界が此の勢ひを以て進まば科學工業の基礎を確立し其の商圈を擴大するに於て絕好の機會たるは予の架設を要せず日本の財界は將に殷盛の機運に向ひつゝありと稱するを得む。

本年の葉煙草
總督府技師 岡田虎輔氏談

本年度に於ける黃色種にホワイト、バーレー種葉煙草耕作獎勵打合せの爲め全州、大邱、忠州及び大田地方に出張中なりし岡田技師の歸來談に曰く

▲バーレー種 ホワイト、バーレーは前年試作の結果頗る良好の成績を得たるを以て生產葉煙草を鮮內の製造家に寄贈し、其品評を需めたるに非常の好評を博し將來多望の購買を希望せんとする狀況なるより愈々本年より全州及び新寧の二地方に產地を形成するに決し目下其準備中なり、本年の耕作反別は全州並に新寧に於て約三十町步の豫定にして耕作獎勵上の監督は關係地方廳之れを司り、耕作乾燥上の技術的指導は全州方面は大田出張所、新寧方面は大邱出張所に於て之れを行ふ筈なり、而して鮮內の製造者より購買を希望せる本年の數量は約三萬貫に達せるも製產數量は到底之れに應ずる能はざる可く、從て耕作者手初めの事なれば止むを得ざる可きも來年度よりは充分の生產を見、需用家を滿足せしめ得るに至る可し

▲黃色葉煙草 忠州地方に於ける黃色煙草の本年度耕作反別は三百十四町四反步にして之れに對する產額約十萬貫の豫定なり、同地方に於ける黃色種の如きは耕作熱著しく向上し來り本年の如きは耕作希望者數に對して漸く三分二を許可し殘餘は之れを許可する能はざる狀況なりき

▲生產總數量 ホワイト、バーレー、黃色兩種とも目下苗床期間にして各方面共に過半發芽し、耕作者は苗床の管理に忙殺せられつゝあるが昨今の天候順當にして苗の生育甚だ良好なり、而して昨年の鮮內葉煙草生產數量は在來種四百五十萬貫、內地種二十萬貫、黃色種十三萬貫、バーレー種約五百貫、合計四十八萬三千五百貫なりしが本年は朝鮮種に於ては約一割の增加を見る、ホワイト、バーレー亦激增す可きも內地種並に黃色種は若干減少す可きを以て其總生產額は結局前年と大差なかる可し

東洋協會擴張

東洋協會に於ては朝鮮に於ける會務擴張を圖る爲め各道に委員部を設置することゝなり今回山縣支部長の推薦に依り小松原本會長は左記各道長官に委員長を囑託したり

記

京城 松永武吉　清州 柳赫魯
公州 小原新三　全州 李軫鎬
光州 宮木又七　大邱 鈴木隆
晉州 佐々木慶太郎　海州 趙羲聞
平壤 工藤英一　義州 川上常郞
春川 李圭完　咸興 申應熙
鏡城 桑原八司

京畿道最近農況 (京畿道)

昨今の農況に付き高見農業技師の談に曰く兩三日來の降雨にて苗代の仕立には多大の利便を得たれども甘藷の床入には成績面白からず、麥の生育狀況は最早出穗に間もなかる可く南鮮地方は本月末當地も亦來月の四五日頃を出でざるべし、田植は來月四五日より中旬頃迄の間に行はるゝを例とするも何分朝鮮は天水の恩惠に依るより外に途なきことなれば天候の部合にて多少の遲速を免れず併し要するに目下の狀況より推して考ふれば五風十雨先づ〳〵適良と云ふて可ならむ

京畿道の養蜂事業 (京畿)

京畿道に於ける養蜂事業を開くに昨年末現在の調査に依れば飼養戶數二千二百零四巢箱數四千九百九十にして其の蜂蜜の產額は二百十七石八斗九升價格八千零十九圓なるが此他に副產品としては蜂蠟產額五千百七十二斤此價格一千二百二十一圓に上れりと

東拓貯藏米

大正四年度決算期に於ける東拓の貯藏米は各出張所合計約二十六萬石なるが營業は今後漸次籾摺りを行ひ玄米に精製して阪神方面に移出すべしと

京畿各郡組合豫算 (京畿)

道各府郡の學校組合中京城仁川二府の外數郡の本年度組合豫算は既に道廳の認可を得たるが其他各郡の豫算は未だ認可を申請し來らざれども遲くも本月中頃迄には全部の提出ある見込なりと

小松原氏歡迎

東洋協會主催官民聯合の樞密顧問官東洋協會長小松原英太郎氏の歡迎會は一日午後六時より京城ホテルに於て開催されたり出席者は古海總長、石塚農商工部長官、荒井度支部長官、宇佐美內務部長官、國分司法部長官其の他官民六十餘名にて食堂開始さるゝや小松原氏は臺灣共進會視察の概要及び同地の產業視察談あり一同歡を盡して十時閉會せり

通俗講演の例會 (京城商業會議所)

京城商業會議所は曩に酒商及び食料品組合等の要求により實業家の子弟並に使用人のため通俗講演會を開會したるが更らに其他の各組合にても此種の催を要望し居れるを以て近々或は每月の例會として開會さるゝに至るやも知れずと

人事消息

▲大岡榮三郎氏(鐵道院監督局長) 一日朝入京巴城館へ
▲中村辰五郎氏(同參事) 一日入京天眞樓へ
▲牧山耕藏氏(朝鮮公論社長) 臺灣共進會視察の爲め同地旅行中の處一日夜歸京
▲川田正徵氏(東京府立第一中學校長) 一日夜入京朝鮮ホテルへ
▲ジヤツクタン氏夫妻(米國商人) 同上

南言北語 國交斷絕だぞウ

ム之れでも聞かぬかとウヰルソン君がグイと睨んだ處は橫丁で小便垂れて居た職人をお巡さんが睨んだ位の處であつたが▲相手がヘイ〳〵洵に恐れ入りましたと揉手をせぬからんだもの、心地は餘り好くもないらしい▲事實上の最後の通牒だなんて大分大仰に云つてたが二十六日國務省の發表した覺書を見るゝ呆れても到底問題になる樣な話ぢあない▲其れなら其れで武裝商船へは米人の乘組を早く禁止すれば可ではないか人騷せな▲其の癖ハースト一派の連中は何と感ずつたか又た排日を煽動して呉れ居る▲やるならやるで確りして呉れ一度鞘を拂つた日本刀は憚り乍ら其儘元の鞘へは辨らんよ▲と云ひたいが此方のタガもスコーシゆるんで居るから先づタガから締めて掛らねばならぬとは厄介だ▲箱崎邊で尾崎法相が不評判だと云ふので其譯を聞くと▲箱崎神社に參拜の際幣帛料がタツタ五圓だつたからだと云ふ▲元來國務大臣が參拜すれば三十圓と云ふ見當になつて居る▲其處へ原政友總裁が乘り込んで大臣待遇々云ふ處から三十圓を奉納したので▲流石は原氏だと評判の好い代りに尾崎法相は益々惡くなつた相な▲鳥渡其處に兩人の氣質が閃いて居るから面白い▲臺灣共進會が忠臣藏の芝居を見せて忠義の獎勵をしようとしたら▲吉良邸打入りで首を鼓たり泉岳寺で首を洗つたりした處があつたので▲生番先生は大喜び昔の日本人は我等のお仲間だと云うて躍り上がつて嬉しがつた▲何うして忠義の獎勵どころか却て首斬りの獎勵になつたとは大わらひ

軍旗授與式

○軍旗授與恰も匂ふ花の頃　大塊
○飛ぶが花嵐待つ日の櫻哉　卓天
○軍旗授く式嚴かに花盛る　若
○若葉蔭旭旗燃ゆ花も紅に　露

活氣漲り溢る 五月號 定價一册二十三錢郵稅二錢 前金(八册一圓八十三錢 十二册二圓七十錢)郵稅共

中學世界

■喧嘩……文學博士 三宅雪嶺
△東京通信……長谷川誠也
△眞空の研究……庄內桂郎
■珍々發明案十四種
△婦人看守の話……苦樂樓主人
△英語新譯註……野尻敬論
■國體及政體に關する二重の道德……法學博士 浮田和民
■先生と生徒……奇想天外生
△人類の發現……山木林學士
△加減乘除の辨……趣味算術
■凸坊小說 獨立の光榮……首太郎
△一人か三人か(痛快小說)
△呪ひの叫び(冒險奇譚)
■小說 珊瑚を碎く……鈴かけ次郎

東京本町 博文館

日韓書房 新版報告
水野葉舟著 ハガキの書方 定價六十五錢 送料六錢
澁谷季雄著 目と耳と口 定價一圓 送料六錢
大住嘯風著 生きんとするの努力 定價九十五錢 送料八錢
門脇眞枝著 安眠法 定價六十五錢 送料八錢
大町桂月著 傑人佳人 定價一圓二十錢 送料十錢
京城本町二丁目 電話二一二三 振替京城一一三

見よ 地方事務員募集
有望なる新事業
新事業は或內職を爲さんとする者は年齡不問成功と幸福を得る人
照會及規則書入用は郵券要 大阪市東區本町信濃橋東詰 日本商工通信社

朝鮮及滿洲

五月號出づ 第百五號 定價一部廿五錢(稅一錢五厘) 半ケ年一圓六十錢 一ケ年三圓(稅共) 一日發行

■古海新警務總長は何を語りしか……旭邦生
■松永新京畿道長官は何を語りしか……旭邦生
◎帝政延期勸告と經濟會議の內容……石井外相
▲來る可き東亞の新形勢……野村博士
▲支那と兩國民の自覺……中野武營
▲三線連絡と運賃問題……某當局
●廣東及び廣東人……加古醫學士
■警務總長の交迭
■吾人の希望と……釋尾旭邦
▲飛行機の發達と國家自給策と殖民地……長岡外史
▲富海法學士
●米國の排日案
▲毛髮の人類學……久武醫學博士
■支那遊記……旭邦生
◎最近朝鮮政變史
◎各道長官の印象……可水生
▲タイムス記者の氣焰……萬二千峰
◎財部中將と語る……白花生
■寺內總督と屬僚……ヒゲブラ山人
▲京城より東京まで……呆鳥
▲吾輩の見たる北朝鮮……今川生
●花を尋ねて……旭邦生
▲綠肥の利益……八尋農學士
▲農業に從事せんとする友へ……鬼石
▲藥を濫用するな……瀨戸醫學士
●重石の話……笠原三井物產店長
▲京城寺院巡禮記……古府生
▲南洋行……村松生
■奈落の女……天泰生
■朝鮮の直侍……羽水生

發行所 京城旭町二丁目 朝鮮雜誌社 電話一三三五 振替京城一三一

▲春捕のうなぎ每日澤山入荷
龍山元町(漢江河岸) うなぎ すつぽん 問屋 宇田商店 電話二五番
平壤港町(大同江河岸) 川魚卸問屋 宇田支店

し市商業の上にも關係を及ぼすを…れざるが爲にも報じたる如く大連油房業は昨年不况に陷り今や内地の農家にては肥料の需要期に入りたるに
…引不昧の結果は 一三、三… 中限 … 薄資の油房業者中倍匪に瀕するもの尠なしとなさず斯く豆粕の近來不勢
▲後場保合 前場大阪大變動を報じ後は入庇未歳にて十一… 調子… 益々昂騰の勢ひあるが如き輸出業者
…節五錢にて動かず保合の裡に…ありたり…立消えとなつた
の飼犬は二十九日狂犬病と判明して
…害を與へんと企て…も線路巡視の工夫に依つて發見され…所ありしも今に犯人逮捕の手掛り無…しと數月前鐵嶺と得勝臺間の線路上…
…治町三丁目を徘徊し同町川尻某方に…坐り込み辻占の押賣を…んとして…は本年二月十四日以降數回に渉り…の宅にて現金賭けの博奕をなし京城…に召集して訓示する所ありた…

此精神あり此軍規あり
嚴肅なる新軍旗授與式
立花師團長の訓告

龍山步兵第七十八聯隊軍旗授與式の莊重嚴肅なる恰も萬乘の君のましまして御親しく授けらるゝかと諸りの思ひあらしめられたり五月一日の花曇りして

綵り色彩ねたる

龍山なる步兵第七十八聯隊兵營内に午前十一時迄に第七十八聯隊要員一同北面して整列し其前列中央二十步許りの位置には池内聯隊長、竹内旗手、古參大尉、古參中尉聯隊列を夾にして併列し之と相對して在龍將校同相當官及び來賓定めの席に就くや立花師團長は寺内總督其他の貴賓を案内して來賓席の前席に着席す午前十一時十分『氣を付け』の喇叭の號音鋭く響き渡るや威風儼として立花師團長は聯隊に正面して其の中央部卅步餘の位置に進み佇立すれば恭しく軍旗を奉持したる參謀之に隨ひ傍に侍立したる處へ聯隊長軍旗を拜授する爲め進み出づれば師團長は

自ら軍旗を執りて

之を聯隊長に授く軍旗を捧持したる聯隊長は正面の儀後退して之を旗手に授け終りて肅然たる一同の前に立花師團長は恭しく 勅語を宣ぶ

七十八聯隊ノ爲メニ軍旗一旒ヲ授ク汝軍人益々奮勵シテ國家ヲ保護セヨ

其聲儼として響き渡れば思はず感涙滂沱たらんとするものあり師團長は之を聯隊長に授け聯隊長は鞠躬如として

敬テ明勅ヲ奉ス 臣等死力ヲ竭シ誓テ國家ヲ保護セン

奉答文朗讀、終つて立花師團長以下乘馬し旗手及び併列せる大尉以下聯隊に正面すれば聯隊一同は聯隊長の命の下に軍旗に對する敬禮を爲す陸行きて草蒸す骸と成る迄も身命を託せむず聯隊の生命たる軍旗に對しての

誓約の成立

ちたる時軍人としての新しき生命を附與せられしかの思ひして聯隊一同水を打つたる如し旗手及び併列する大尉以下定位に復して直に總督及び師團長の前面に行進し分列式を行ふ今し心肝を吐露して誓ひし國家の爲めの干城は正に愆りと許りいとも雄々しく勇ましき筆紙を絶すとや言はんか終りて原位置に復すれば立花師團長は一場の訓告を爲す言々將士の腸に徹せざるなし要に曰く『聯隊が健質强固なる一團と成り卓越なる戰鬪力を養成せんとする事は師團長の各位と共に切に期待する處にて之各位の前後の努力に俟たざるべからず抑も聯隊旗は軍隊の棹幹にして

軍人精神の淵源

なれば此軍人鍛錬の爲めには軍規と相俟つて水火尚辭せざるを必要とす此精神あり此軍規あり初めて國家の隆興と戰爭の勝利とを期し得べし各位が部下に對する教育と薫陶とは國軍の精神を發揚せしむるを目的とし嚴肅なる軍規養成を主眼とせられたし効果を收むると否とは一に諸氏の双肩にある事を自覺せられたし蓋し精神教育は總ての教育の基にして之れ唯精神を以て教育するを得るのみ今日の勅語に對し答へ奉るの道は將校各位の奮勵努力にあるのみ古諺に一年の計は元旦にあり一生の計は少年にありと、第十九師團新設劈頭の創業者たる事を思ひ諸氏自ら範を垂れ

忠實なる義務心

崇高なる徳義心を養ひ彈丸雨飛の間よく甘んじ心命を急とせざる事を期せ。師團長は各位が團結强固なる將校團を以て部下の指導に努力し教育百般の効果を歛め亞細亞大陸の一角に聯隊の威武を輝やかさん事を期す諸氏能く此意を體せよ』之にて式を終り總督、師團長以下退場せるが當日は式場内に軍裝品の陳列を爲し來賓に縱覧せしめたり

●第十九師團 開廳祝賀
小國民と萬歲 軍事趣味横溢

新軍旗の授與を終れる立花師團長は一日正午總督を案内して第十九師團司令部にて催ほす開廳祝賀宴に向ふ第七十八聯隊本部にて軍旗授與式に列せる將校同相當官、來賓一同亦宴會場に向ひたる頃

●手に手に旭旗を 掲げし

龍山内鮮學生數百名第十九師團司令部に參集すれば寺内總督、井口軍司令官、立花師團長以下第十九師團司令部の幕僚も玄關に出で小國民と萬歲の聲を合せ轟て庭内設けの席にて式に移る先づ立花師團長は起つて挨拶を爲す『第十九師團は今日惩く生まるゝには生まれたれど未だ至極貧弱なり顧みれば歐洲戰爭後

◎如何なる勢力が

東洋に來るべきか、如何なる覺悟を吾人は持せざるべからざるか誠に今日に於て寸時も安心すべからず各方面の步武を固めて努力せざるべからず將來我國の武備に就きても閣下並に各位の同情に據り今日となりしが前途に於ても他國に笑はれざる決心を持ちたし憾くて難産に生まれたる第十九師團は上は 天皇陛下、下は國民に對し誠に重き責あり

◆吾人重任を負ひ

朝鮮にて永く守備と訓練とに全力を注ぎ上 陛下の大御心に副ひ奉り下國民の意に合する樣切に期す』と滔々たる辯を振ひ更に將來に於る同情を希望し『今日の宴は總て醫官立會の下にて兵卒の調理せしものなれば』と大に軍國的趣味ある處を述べ演説を終り君が代の奏樂を爲し井口軍司令官の發聲にて

◆天皇陛下の萬歲

を三唱し更に第十九師團の爲めに萬歲を唱和し宴を閉づ後庭丘陵の間に天幕を張りたる模擬店は此時客を待ち爆竹の合圖と共に野戰的趣味を横溢させて開始せられ千餘の來賓文武官民縱横して歡びを共にし午後一時半頃に至り漸く終りを告げたり

□第七十八聯隊軍旗奉授式
(上) 池内聯隊長の勅語奉答(下)小學生徒の旗行列

◎自動車と衝突

三十日午後十一時頃一臺の自動車が京城太平通りを本社方面に向つて疾走中前方より乞食體の鮮人男一名通り蒐りたるより運轉手は之を避けたるに件の者は又々同方面に進みたる爲め途に自動車の洋燈に衝突して打倒れたるより運轉を中止して救助し一方最寄交番の巡查も駈付けて取調べたるに被害者は住所不定のモヒ中毒患者崔光哲(三二)と判明し自動車は黄金町一丁目の京城自動車商會の自動車にして左額頂部下顎等に治療十日を要する創傷を負ひたるが同商會より治療費を支給して安東醫院へ入院せしめたり

◎賣國女と罵られて

獨探と携へて上海行き

去月二十四日午前十時横濱出帆上海に向ひし日本郵船山城丸にて退去を命ぜられし獨探の伊太利人は一人の日本婦人を同伴し行けるがより埠頭にありし人夫等は件の婦八を見て甚く憎み賣國阿魔よと罵り騷ぎしも婦人は面の色も變へず平然獨探と相携へて母國の岸を離れたり此婦人は駿州富士山下大宮の産にて夙く滿韓に流れ込みて馬賊浮浪人等を相手に春を鬻ぎ綽名を鴨緑江のお道と呼ばるゝ猛お道(三一)と云ふ强か者にて近頃仁川の旭樓に身を沈め居りし所へ件の伊太利人が來りて馴染を重ね遂に落籍して長崎佐世保吳神戸を經て女の故郷の大宮に來り是より愈々獨探の本務にかゝらんとせる所を退去を命ぜられしなりと

◎シーメンス事件公判

海軍收賄事件に關聯し一時喧しかりしシーメンスシユツケルト商會支配人獨逸人ヘルマン『ロイテル』通信員ジョージブランデル元日本宣報通信社々員權藤震二同上田碩三四名に對する恐喝詐欺證據湮滅贓物收受事件の控訴は第一審判決後二箇年間日獨戰爭ブーレー逃走等の關係より延期に延期を重ね來りしが愈々六月十九日東京控訴院刑事第三部法廷に於て中島裁判長係りの下に公判ある筈にてブランデルは歸國の儘行衞不明なれば缺席裁判を下す筈なりと(東京)

◎友人を刺殺した少年僧侶と爲る

東京京橋尋常小學生兒島市太郎(十五)と爭論の結果遂に刺殺したる同區木挽町山本勝之助(十五)の處分に就ての相談會は去月廿八日午後六時木挽町なる京橋尋常小學校保護者會委員長後藤武大氏宅に當該校長木八及び父常太郎昵近者兩三名會合の結果勝之助親子の希望に任せ愈僧侶たらしむる事に決し早速然るべき寺院を選定する事勝之助を名僧に仕立つるには充分なる教育必要なれど其の教育費用萬端は今後後藤氏が引受けて心配する事となりたりと(東京)

◎桃の木で縊死

京畿道驪州郡北内面池内里神順喜(四七)は大正三年二月頃より精神に異狀を生し本月二十二日夜同里路傍の桃木に麻繩をかけ縊死を爲し居るを通行人が發見し驪州分隊より係員出張檢視の上屍體は家族に引渡したり

◎火事場泥棒

住所不定の崔正嘉(二〇)は昨年十一月十三日午前十一時頃京城總督府醫院東病室火災の際入院患者なる北米倉町居住の稻葉某女が純金製指輪一個(十三圓)を戸棚の抽斗に藏めたる儘東隣場に持ち出し置きたるを騷ぎに紛れて右の指輪を窃取し之を同月十七日金東植をして金六圓に賣却せしめ尚本年四月四日午前十一時頃には西大門町崔宗鎬方にて男用袴一着を窃取し昌城洞の質屋朴舜基方へ假名にて五十錢に入質したること發覺し鍾路署に檢擧されたり

◎亂暴な芝居者

廣島市廣瀨村生れの藤島陽藏(三二)は龍山漢江通佐久良座の道具方に雇はれ中三月十日同座に於て素人芝居のありたる際蔵口一本紛失したるを以て同座の木戸方新川米吉は同月十六日道具方なりし藤島に對し二回許り心當りはなきやと問ひたるに同人は大に怒り有り合せたる出刄庖丁にて新川に切りつけ重傷を負はしたるものなるが同人は傷害器物毀棄等前科三犯あり京城地方法院にて懲役三年の判決を受けたるを不服とし京城覆審法院に控訴したり

◎電流を盜用す

京城樂園洞崔駿(三七)は三月十五日京城電氣會社に無斷にて六燭光一個を取付け電流を盜用しゐたること發覺し同人は阿片煙丸匁を所持しゐたりし爲め鍾路署に檢擧されたり

◎店頭で大喧嘩

京畿道抱川郡永中面永松里林正萬(三〇)は三月二十六日夕刻居里の雜貨店李乾應方の店頭にて同里の崔光鎭が被り居る興笠を後方より引張りたるより爭論となり崔の結髮を引つ掴みて毆り飛ばし或は蹴りて手足に負傷せしめたるより京城地方法院にて笞刑に處さる

◎教室崩壞す

全南求禮內地人小學校は昨年建築せられたるものなるが二十六日午前八時頃俄然教室全部崩壞したり幸ひにして生徒の登校前なりし爲め死傷者はなかりしも同校は元來梁材が大き過ぎる上連日の降雨にて瓦が濕り重量を增したる爲め今回の椿事を招きたるもの、如く結局工事の不完全が原因ならんと損害額は八百圓の見込なる由

市民の大敵

□蠅の代には一萬匹□ □印度に勝る京城の蠅□

蠅の種類は却々多いけれども、普通の屋内に居るのは肉蠅、黑蠅、銀蠅、整蠅、家蠅等であつて、其十中の八九迄は家蠅である。家蠅が卵を産むのは、馬糞や塵芥物等植物性の腐敗物の蓄積して在る場所である。

◇臭い物に蠅集る

で不潔の場所は蠅の棲息に尤も適して居る。殊に其棲息の場所にいくらかの濕氣があると馬糞や塵芥中に自然醱酵作用が起り、延いて温度が高まれば尚更以て蠅が集まつて來る。蠅は成蟲になると半時間中に百乃至百五十位の卵を產み付ける、其卵はバナヽ形の光澤ある白色の小粒で産卵後十二時間も經過すると蛆になる蛆は細長い白い蟲で眼も肢もなく口器のみ著しく發達して非常に活動力のある蟲である。そして此蛆が成長して蛹になるまでの時日は温度と濕度との關係に因て一樣でないが大體八十五度內外の温度ならば約十日間位で發育して立派に蠅になる。蠅の

◇繁殖力は非常な

ものである。一代に二回位產卵し、且其一代は短く、一年間に少くも七回乃至十回位も孵化する。今假に一回に生れる卵の中から百匹の蛆が發育して、それから生れる雌雄の割合が等しいとすれば、一匹の親蠅は一代に二回產卵するとして百匹宛の雌雄が生れ、其百匹の雌蠅が更に其一代に各百匹宛の雌蠅を生むとすれば其孫蠅の代には一萬匹に增える、而かも蠅の一代といふものが極めて短かいことは前述の通りであるのだから其繁殖率は非常なものである事が想像される。昨年田中氏が光熙門外の塵芥捨場に於て調査した所に據ると

◇五寸四方に五千

三百疋の蛆が居つたと云ふことである。之れを印度の樣な温度濕氣共に蛆の發育に適した所で五寸四方の地面から三千疋の蛆を發見したといふ調査に比較すると朝鮮は二千三百疋の多數を示して居る。印度に比較しても此有樣である。朝鮮の蠅が如何に多いかは之に依つて知ることが出來る。世人は

◇最も恐しい動物

は何かと問はるれば、虎とか、獅子とか、此頃の朝鮮なれば豺など、答へるであらうが、蠅はそれにも增て人體に取つて恐しいものである。吹けば飛ぶ樣な小さな一匹の虫が、傳染病の黴菌を持つて來る時には五尺の人間を倒すことは猛獸の毒牙よりも容易である。而かも其數は無數である一寸想像しても慄然するではないか專門家の調査に依れば窒扶斯、赤痢、虎列剌、結核、下痢症などは大部分蠅の媒介に因つたものが多いといふ。現に腸窒扶斯の發生した家の蠅を捕へて檢べて見たら、百二十四匹の中八匹迄窒扶斯菌を發見したと云ふ事である(つゞく)

歸京

齒科醫 飯塚徹 見學の爲上京中の處二十九日

運動界

▲野球試合 四月二十九日龍山鐵道公園に於て擧行せる龍道對京城靑年會野球試合は鐵道軍最初より緊張りて常に優勢の位置にあり靑年會之に反し絶えず鐵道に壓迫せられ九回に至り鐵道の得點十九に對し靑年會は零、終に十九對零を以て靑年會は第一回戰に於て殘の敗北を遂げたり

京日案內

普通 (一回前金三十錢無割引 一行一回毎に金五錢增)
番外 (匿名一回前金六十錢 一行一回毎に金五錢增)

◎小供入用 年齡十四五歲にして健康なる者入用希望者は至急直接來談 本町二丁目 チチブ屋吳服店 146

◎店員入用 廿一歲以上商人たる經驗と自信力あるもの要保證人 ◎本町二 ウツボヤ書籍店 141

◎金澤博士 日語類解 定價七五錢 送六錢 京城本町二 電二五二三番 ウツボヤ書店 140

△印刷▽ 少は名刺△大は頁物迄勉强 美麗△廉價▽迅速は特長 ウツボヤ印刷部 139

◎古本なら野村 買入賦賣御報參上 京城本町一丁目(明治町角) 電二六三六番 野村書店 142

◎外交員 書籍豫約募集に經驗有る者歩合手當を給す希望者履歷書携帶來談を要す 京城需昌洞一九六 新文社 128

◎小供入用 年齡十四五歲にして健康なる者五名入用希望者は至急直接來談 本町二丁目 丸一吳服店 115

但馬特產 柳行李並に古本賣買所 右今般新規開店特別大勉强 京城本町三丁目 但馬屋號 北村商店

△弟子入用 市內に保證人を要す 京城本町一丁目 千代田號印舖 101

△寫眞修整技師二名入用 希望者來談又は半身像の見本を送れ 安東縣 菅原寫眞館 102

△家庭教師 京城內にて雇れたし 朝鮮內にて多年教育に經驗あり 京城本町四交番所前 吉川 124

●轉勤に付住宅急賣 たし 京城市內地所附、宮東向、價金四百五拾圓 本町三丁目十三 山本 番外

●藥劑師 試驗制度發布せられたり受驗準備者は此期を逸せず直に入學あれ各級補缺者あり臨時入學を許可す 長橋通 朝鮮藥學講習所 143

中學校の入學準備用として最好適 中學豫科 國民補習講義錄 入會の最好機申込次第規則書進呈 京城觀水洞大日本國民中學會支局 138

酒商に 酒醬油は内地より直取引 現價返信す三錢切手五枚要 兵庫灘濱崎通 三國屋物品紹介所 145

年金 恩給類立替短期無保險確實 京城武橋町二三番地電話二八三番 京城日報社北方一丁 國江商會 144

恩給 年金低利長期立替短期無保險地方在住者不及上京便法あり但短期は特に御相談申上候 京城若草町停留場南辻入 西村商會 146

年金 恩給退隱料で金融希望者へ 其他諸公債債券に對し低利擔保貸金 京城永樂町一丁目商品陳列館裏門前 江州屋本店 148

自今三週間當院發每日下仁の申込に限り本院規定の往診規則に據らず之に應じ候 同期間 京城北米倉町 京城婦人病院事務 電(四八二一)(一四五二)(二三四一二) 147

●ほねつぎ(うちみ等) 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 150

三妃殿下の台覽を辱ふする名譽の 賢修 女學講義錄 新學期入會最好機 申込次第見本附規則書進呈 京城觀水洞大日本賢修女學會支局 132

●朝鮮語科 新學期三ケ月修業 ●英語科 補缺生徒募集 南大門通り(漢城銀行向)京城靑年會 130

五月節句人形 色々かし 笹のまき大勉强大賣出し 新龍山三角地前 陸軍御用達 石見堂 電話三二一 122

鑛物分析 正確迅速 太平町二の三〇 朝陽分析所 151

茶 並に茶器 京城本町二丁目 宇治屋 清心堂 電話二千五一番 振替京城三五一八番 104

鑛物定量分析 京城太平通二ノ一二五 坂元分析所 電話一三四四番 293

京城龍山漢江通八番 電話三五五番 ▲御望みの方は左に 七十七番 富士用達部 238

▼季節と▲太平夜市へ 盆栽鉢揃ひ 御越しの方は是非一度御覽被下度 支店御覽 金華園 盆栽種子安價販賣仕候 276

明治町二丁目 岡村介石 フランス教會降 289

高麗人參 及御茶用菓子用人參粉末 販賣出し 京城黃金町二丁目一九九番地 共濟堂大藥房 李性有 299

開城名產 高麗人參 御入用の方は京城南大門通二丁目一番地(電話二三〇三) 共和堂藥房に御求あれ 107

開業▼名物粟おこし 浪花 本店大阪南區道頓堀中座前 京城櫻井町一丁目 戎商會分店 110

ルーデサック A十個四十錢 B十個六十錢 變形一個廿五錢 女用一個入千錢廿錢 以上一割引外に要送料郵券代用一割增 京城黃金町三山田文祥堂藥房 116

●古今二流 ▲柏餅賣出し 製藥博士 (電話二三四三番) 本城屋 125

鰻卸販賣! 並に川魚一切 滿鮮一手販賣元 朝鮮釜山府外下端 福原德三商店

流經新藥 レスノリン 月經 其流經 … 常盤藥院

花柳病專門 外科 ●梅毒●淋病●泌尿生殖器病 ●痔疾●肛門病●皮膚病 ●婦人病●神經衰弱 ●六〇六注射包皮其他手術每日 ●診察無料●入院隨時 京城南大門通三丁目工藝行裏 司生堂醫院

千生瓢 (200)

須藤南翠作　筒井年峰畫

長湫（一）

羽黑の矢合に不覺の敗衂を招いて、賴みに思ふ宗徒の郎等を、許多討たれた事に就いて、秀吉からは一言も尤められなかつたが、鬼と稱ばれて驍名を敵味方に轟かし、大小數度の合戰に、一度の不覺を取つた事のない、無双の英雄森武藏守長可が身に取つては、如何しても忘れることの能きない遺憾の敗狀であつた。全く死に勝つた弓矢の瑕瑾であつた。復び雪ぐべからざる武名の汚れであつ

た。是れが爲に長可の肝腦は、日夜に破碎し紛裂するのであつた。

燎火白く細りて、軍營の夜は閑かに更けた。紫邏の履聲迢に消えて、人馬の睡り深く濃かに、旗幟徒らに露に委れて、殿春の殘香夢裡に去るの時、短檠の灯を挑げて、敷皮に端坐しながら、長可は獨り無念の齒を嚙み、鬱忿の眦を決して、氣息に閃つく灯火を疾視へた。炬の如き眼睛は、釁眼を飛さんばかりの熱涙に掩はれて、其涙珠の一粒每に、燈華の映ずるのが耀いてゐた。

羽柴徳川の二大英雄、東尾の野を壓して相對陣し、其の不滅の精神と其の不朽の訓練とを以て、將に勝劣を定め、雌雄を決せんとする、震天動地の戰前に方りて、神算鬼謀を凝らし、智謀才略を練る、胸裡の慘憺たる有樣は、決して帷幕の外に漏るることなく、最も深秘極密にして、僚外の將士は、唯命惟隨ひ、勇敢に奮鬪して、軍忠を抽づれば足るのである。其の必勝の陣形を素布し、其の必滅の戰機を稽考するのは、自から將帥其人があつて、敢て他の容喙掣肘を許さぬのであるとはいへ、獻策上議は、何人も爲し得る路が開けて居る。意見を呈して帷幕の謀議に貢する事は、戰將たる者の、當に務むべき責とも言へぬことはない。長可は斯う考へながら、壯んに將に捲き起すべき風雲の運籌に、夜を睡らず苦慮するのであつた。

敵を屠ること、恰も猛虎の群羊を驅るが如く、堅を破ること、霹靂の密樹を劈くが如き鬼武藏守も、森兵を以て大敵に向ひ、陣容整然、旌旗堂々、對等の威風を修めて、靜かへつて機を覗ふ、沈毅深剛の敵に對しては、輕々しく勇を試す譯には往かなかつた。其だけに前敗の屈辱に深く心魂を抉られて、忿々の氣は鋭く肺肝を衝く。雪辱の念熾んに丹心に燃えて、慷慨の猛火は遂に滿身の血液を煮沸させる。長可は腕を扼して熱涙を一揮した。

『死——、死——、死なうわ』

色を喪つた唇をぶる〳〵と顫動して、燃ゆるばかりの兩眼に、きつと上部を疾視へ詰めた。其顏色を見るに、今まで濕丹の如く赤く光らした血は、全く顏面より流れ去つて、土の如く蒼く、而も粟の如く肌理を悚立てゝゐる。長可は全身を顫動して呻吟くが如く聲を發した。

『あつぱれ目覺しい戰ひして、美事討死を遂ぐるに於ては、羽黑の恥を雪げやう、此儘阿容々々生て居つては、いつ汚名を洗ふ時があらう。爾ぢや、死ぬより外に家門の恥を清める途はないわよ』

それと意の決すると共に、長可は、纔に聲を發して、けら〳〵とうち笑つた。其の笑聲の物凄さ——

『屍の上まで永く恥辱を受けやうより、飽まで勇戰力鬪して、一步も去らず戰死するは、いかばかり潔よからう。よし、爾ぢや、妻は池田殿榮えらるれば、恃みなき身ともなるまい。夫婦が中に子もなければ、後に心の殘るべき身でもない。爾ぢや死なう。舍弟千之助(忠政)に家跡相違なく繼せらるゝやう、願書一通認め置かば、何人か執し申して、森が家は立てらるゝでもあらう。爾うぢや願書の認めやうわ』と、長可は始めて膝を起した。

鎧櫃より陣中の矢立を取り出して懷紙を伸しながら、筆を染めて手短かに書き認めた家督相續の願書を一應讀み下して、

『意が通ずるわ。此れでよい〳〵』と、手早くさら〳〵と卷き納めた。

日報俳壇　棲子郎選

山吹

山吹や寶られし鳥居運び去る　浦子

用ゐねば荒ぶ筆力や黄金花　浦南

柳

垂柳の風に宮舘掃かれけり　韮城

馬上睡き柳の町を通りけり　露宵

韮

韮の香や招牌光る支那市街　可雲

蒜や錢あれば飲む民の國　韮城

路の台

子を持たぬ食卓淋し路の台　田打男

芥火の燻ぼりて路の台　韮城

路の台酒藏の裏の壁崩れ　菊坡

■春雨十句　黄丘

井戸堀の丸太橋春雨に立てる

春雨の埠頭船見えつゝ子を送り

春雨の集ひ古畫を展へ悦けり

渡り廊下の春雨や羅紗に水玉する

春雨の裏街を母衣俥迷へる

春雨の窓鐘の消え音長く引り

古瓦割れを春雨の畑に獲たり

笛鳴りつ春雨の霧中より船見ゆる

山に雲垂れて苗床に春雨せり

農技師簑笠に春雨の里を巡る

■パコダ俳壇寄句

パコダ公園は副覺公園の詩的なるに如かず

花の筵横糊たるや副覺の塔　青々園

○

崖城の酒癖わるき花見かな　欣堂

新刊紹介

▲生物哲學　著者土田杏村氏自ら曰へる如く内容は畢生物學と稱すべし而して其の說く所生物界の現象生物體の組成、分化、感應性、作用、生殖、發生より生物進化の事實、理論遺傳の法則に至る迄最も深き興味と注意とを以て自然科學に對する高く必要なる智識を發得する總記述せり本書は專門的に記述したる

▲碧巖物語　石坂龍雲氏の著なり……（一圓東京市牛込區神樂町一の一東亞堂）

▲讀み方教授　東京高等師範學校……（一圓三十錢東京市牛込區神樂町一東亞堂書房）

▲朝顏培養法　培養士播種肥料施法より……（二十錢大阪市東區……）

▲壯丁讀本　國民皆兵の精神を普及し壯丁……（三十五錢大阪市東區……）

▲第三通俗敎育道話　著者安藤……（……寶文館）

▲女優稲尻物語　須磨子、律子、貞奴の歷々……

▲少年園（一〇）　武道の朗み……（……東京市神田區……）

▲正續文章軌範全　……（……東京市日本橋區本石町三丁目……）

▲佐倉宗五郎文殊九助　宗五郎は二十二席三百二十頁九助は十二席百八十頁……（三十錢東京市日本橋區……博文館）

▣蚤取粉原料の暴騰　ボカ〳〵と暖かになると直ぐ蚤や蚊が出たす、處が今年はのみとり粉や蚊とり線香の原料になる除虫菊が非常に騰貴し例年の二倍以上になつたが然し此の方は……

讀者の聲

▲世界の相撲生が言の如く家庭は一日の勞を慰すべき所なれば各好む處に依り聲樂をなして樂むに何か差支あらん殊に謠曲の如き善良なる我國獨得の聲樂に對してをや凡て法治國に於ては法の禁せざる行爲に對して云々するよりも自から避くるを以て賢なる道とす世の聲樂家諸氏よ斯る非常識の言に迷はざらん事を要す然りと雖も隣家の就寢時刻不幸病者等生じたる場合は愼むべきであらう（長屋取締）▲先日より仁川廣島縣人春季大會開催候條奮て御來會を乞ふとありましたが會費を一圓ぐらゐにして多大の會員を募り盛大にやりては如何ですとても會費が二圓では判任や高等官而已は居りません故に會員數くありますで小生等の如き貧乏人が多くあります故其邊を幹事に賴む（貧生）▲東京旭扇派の筝士よ小生も當地に熊八等の發展を望む者なり貴殿發起して挙會を御催相成様願升（東京一葉連柳月）

商況

大阪三品

九月限　一三一、七〇　一三一、七〇

十月限　一三二、五〇　一三二、六〇

下關期米特電

仁川米豆取引所

▲一日後場大阪前止十四圓八十錢……

朝鮮彙報

朝鮮彙報　大正五年五月一日（定價二十五錢 郵稅二錢五厘）

主要目次

（新設の總督府專門學校……平壤の櫻花、湖南線榮山江の風景）

◎口繪

◎各道長官に對する寺内總督訓示

◎總督府立專門學校綱領

◎經國大典及其の後の法典　淺見高等法院判事

◎英國通信事業の概況(下)　矢野遞信事務官

◎江原道農林畜產技術員會同席上に於ける講演　中村總督府技師

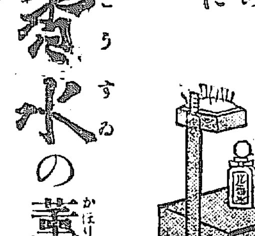
◎篤行者事績◎三月中の朝鮮貿易◎二月中東京に於ける朝鮮米概況◎大阪對朝鮮貿易◎大正四年米實收高◎大小麥優良品種普及の狀況及其の栽培成績◎大正三年度地方費經營人工造林事業成績◎大正四年桑田反步◎大正四年優良家蠶の販賣狀況◎遞信事業概況◎三月中の鐵道運輸◎河川調査の狀況◎タングステンとモリブデン◎朝鮮產脊推動物目錄◎公證事務に就て◎路上喀痰檢査◎大正四年中に於ける害獸特にヌクテーの被害及驅除◎白楊類挿穗の作成方法◎慶尚北道方言◎慶尚北道及忠清南北道に於ける棉作狀況◎叙任指紋に就て◎外國事情◎地方通信雜報◎質疑應答◎及辭令◎統計◎法令及通牒◎判決例

◎朝鮮語の研究　新庄通譯官

◎投稿を歡迎す　原稿締切期限每月十日

◎販賣店　東京神田巖松堂、朝鮮各地の書店に販賣す

◎廣告料　一頁十圓　取扱店　京城　ウツボヤ書籍店



心地よきは

仕立おろしの新しき着物に

おとなしい金鶴香水の薫

撞球界の泰斗　王乃一熊著

菊版上製三百餘頁　總クロース美裝函入

撞球指南

玉突の理論と實際を解說せる初學者の入門熟達者の虎の卷

「東京朝日」評　我が撞球界に於ける科學的知識と技術の卓拔並ぶもののなき點に於て斯界の權威として推さるゝ著者の最も統一せる述作なり本邦撞球者の爲に他に類例なき好指導として推薦すべき者なり

定價壹圓五拾錢　郵稅金十二錢

發賣所　京城太平通壹丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

新刊書御案内

書名	著者	定價
◎正續机上便覽	川岸翠岳	一、二〇
◎春林論集	鶴澤總明	二、八〇
◎新英雄主義	茅原華山	一、〇〇
◎生物哲學	土田杏村	一、〇〇
◎滅び行く亞細亞人類	鳩玉邑	一、四〇
◎意志の力	安田等次郎	六五
◎生きんとする努力	大住嘯風	九五
◎禪の立場から	鈴木大拙	八〇
◎縮刷思出の記	徳富健次郎	六五
◎浮城物語	矢野龍溪	九〇
◎世界戰場の奇劇	ヤブロコフ中尉	六〇
◎犯罪哀話	松崎天民	八〇
◎惑者の裏をもて		五〇
◎動物交尾の話	一夢樓主人	四〇
◎女と戀と	風來山人	五〇
◎佐倉宗五郎	長州講談七篇	三〇
◎天一坊村井長庵	同六編	三〇
◎四季家庭園藝	酒井伯爵	一、二〇
◎怪人怪光	淡路呼潮	四五
◎少年斥候	原田中尉	三〇
◎名金	エマーソン・オー	五〇
◎快漢ロロー	淡路呼潮	五〇
◎御即位式勅語述義	加藤咄堂	四五
◎自白生活	瀧本輔子	九〇

京城本町　電話二〇八六　振替京城二七三番　大阪屋號書店

金泉醴泉間自動車發着時間

金泉居昌間自動車支部

大邱浦項間自動車發着時間

大塚農場自動車部　大邱出張所

大阪商船仁川出帆

日本郵船仁川出帆

共同汽船仁川出帆

朝鮮郵船出帆

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行

大正丸　五月二日後四時出帆

大有丸　五月十日後五時出帆

神代丸　五月四日後五時出帆

秀吉丸　五月九日後五時出帆

君が代丸　五月　日後五時出帆

仁川港町　杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行　立神丸　月　日後五時出帆

○元山浦項浦鹽行　立神丸　月　日後十時出帆

○門司、神戸、大阪行　小倉丸　月　日後五時出帆

○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　五月　日後十時出帆

○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　月　日後六時出帆

○門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　五月　日後六時出帆

○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天興丸　毎月三日、九日、十五日、廿一日、廿七日　午後十時出帆

本船取扱店　大池回漕部